Panasonic

ナンバー・ディスプレイ対応
ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ
NTTへのサービス申し込みが必要です。（有料）

コードレス電話機
取扱説明書

ブイ イー ジー ピー ディー エル
品番 **VE-GP01DL**
親機 VE-GP01……1台
子機 KX-FKN510…1台

ブイ イー ジー ピー ディー ダブリュー
VE-GP01DW
親機 VE-GP01……1台
子機 KX-FKN510…2台

VE-GP01DL

ニッケル水素電池のリサイクルに
ご協力ください。

Ni-MH

このたびは、コードレス電話機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店から
お受け取りください。

もくじ

なまえや機能の名称からページを探すときは「さくいん」が便利です。（☞ 78～79ページ）

■こんな機能があります

ボイスセレクト（☞ 59ページ）

外線通話中の音質を「低音強調」「標準」「高音強調」の3段階で切り替えることができます。

双方向子機間通話（☞ 33ページ）

子機どうしで双方向の内線通話ができます。
家族間のちょっとした連絡に便利です。
● VE-GP01DLは子機の増設が必要です。

ワンタッチダイヤル（☞ 34、35ページ）

よくかける相手の電話番号を登録しておけば、ワンボタンですぐにかけられます。
親機は**3件**、子機は**1件**登録できます。

漢字電話帳（☞ 40、42ページ）

よくかける相手を親機・子機それぞれ**150件**登録できます。またどちらかに登録すれば、親機・子機間で電話帳を転送（コピー）できるので便利です。（☞ 44、45ページ）

留守番電話

ナンバー・ディスプレイ

お好みに機能を変える

増設子機／ドアホン

必要なとき

困ったときには

●使いかたでお困りのときは、**別添付の「困ったときには」をお読みください。**

(内容)
ADSL／ISDN回線／ホームテレホンに接続するとき／並列に接続するとき
故障かなと思ったとき／よくある質問／こんな表示が出たら

はじめに

本書は、VE-GP01DLとVE-GP01DWの2機種を共用して説明しています。
機種によって使える機能や操作が一部異なります。本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

VE-GP01DL　：　子機1台付き	**VE-GP01DW　：　子機2台付き**

■ 必ずお読みください ☞ 10～15ページ

■ 必要な準備 ☞ 6、7ページ

■ すぐに使いたいとき ☞ 8、9ページ

■ 困ったときは ☞ 別添付の「困ったときには」

● パソコンを使って、本機の製品情報などをインターネットのホームページ上で見ることができます。

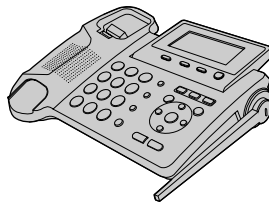
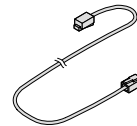
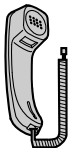
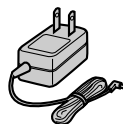
パナソニック　ファクス・電話機ホームページ	**http://panasonic.jp/fax/**

商標・登録商標について

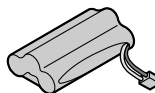
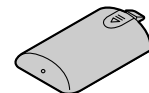
本体と付属品・添付品

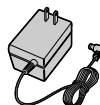
万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

本　体　と　付　属　品

□ **本体**.....................**1台**

□ **電話機コード**
（長さ約1.8 m）
..............................**1本**
（☞ 6ページ）

□ **受話器**.................**1台**
（☞ 6ページ）

□ **親機用ACアダプター**
（長さ約1.8 m）
..............................**1個**
（☞ 6ページ）

□ **壁掛け用木ねじ・ワッシャー（親機・子機共用）**
..........................**各2個**
（☞ 72ページ）

□ **コードレス子機**
............**1台（※2台）**
（別売品 ☞ 裏表紙）

□ **子機用電池パック**
............**1個（※2個）**
（☞ 7ページ）
（別売品 ☞ 裏表紙）

□ **子機用電池カバー**
............**1個（※2個）**
（☞ 7ページ）

□ **子機用充電台**
.........**1個（※2個）**
（☞ 7ページ）

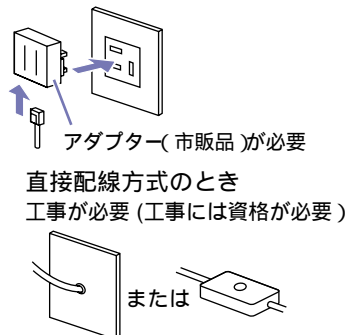
□ **子機用ACアダプター**
（長さ約1.8 m）
.........**1個（※2個）**
（☞ 7ページ）

□ **壁掛け用木ねじ・ワッシャー（親機・子機共用）**
....**各2個（※各4個）**
（☞ 72ページ）

※VE-GP01DWの場合の個数です。

添　付　品

取扱説明書（本書）. **1冊**
困ったときには **1冊**
保証書 **1式**

親機を接続する

親機や子機を壁掛けすることもできます。壁掛けのしかた（☞ 72ページ）

■ 回 線 種 別 を 手 動 設 定 してくだ゛さい **が表示されたとき**（☞ 60ページ「手動で電話の回線種別を設定する」）

お願い

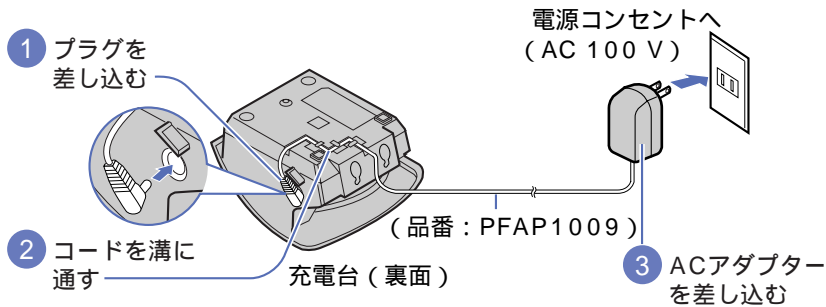
● 本体と電源コンセントの接続には、付属の親機用ACアダプター（極性統一形プラグ）をご使用ください。

お知らせ

● 電話機コードを接続せずに放置すると、約20分後に次々と画面が切り替わり、音楽が聞こえます。
➡ **電話機コードを接続し、ACアダプターを抜き差しすると、回線種別の設定が自動的に始まります。**

● 本機をご使用になるにあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡された日から **「機器使用料」は不要** となります。詳しくは、**局番なしの116番**（通話料金無料）へお問い合わせください。（現在お客様所有の電話機をご使用の場合、NTTへの連絡は不要です）

子機の電池を充電する

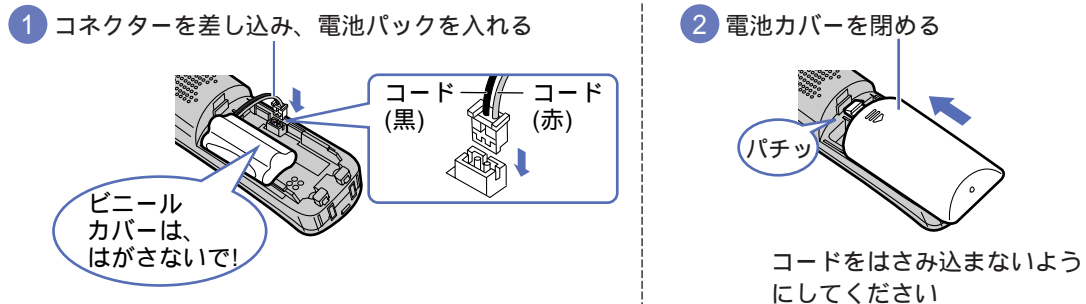
1 子機用ACアダプターを取り付ける

お願い

- 子機充電台と電源コンセントの接続には、付属の子機用ACアダプター（極性統一形プラグ）をご使用ください。

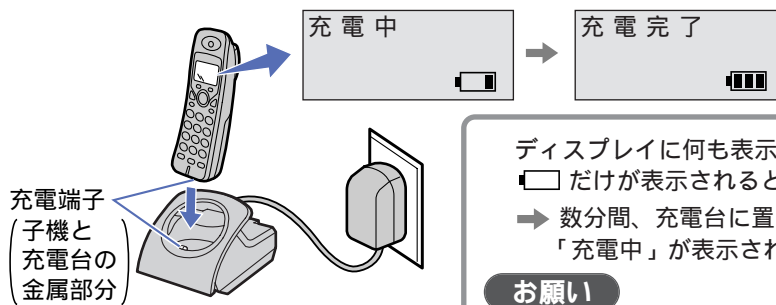
2 電池パックを入れる

1 コネクターを差し込み、電池パックを入れる

2 電池カバーを閉める

- コードを**はさみ込まない**ようにしてください

3 10時間以上充電する（充電する時間が短いと、使える時間が短くなります）

■ **ディスプレイに何も表示されなかったり、▭ だけが表示されるとき**

➡ 数分間、充電台に置いたままにすると、「充電中」が表示されます。

お願い

- 親機のACアダプターをつなぎ、子機に「圏外」と表示されていない状態で充電してください。（電源が入っていないときや子機が圏外になっているときは、充電時間が長くかかります）
- 充電端子が汚れたら、充電できません。汚れたときはふいてください。（☞ 70ページ「お手入れ」）

お知らせ

- 電池パックを交換するとき（☞ 69ページ）
- **1週間以上子機を充電台から外したり、1週間以上子機用ACアダプターを抜くときは、電池パックの性能維持および電池の消耗を防ぐため、電池パックを子機から外してください。（外しかた ☞ 69ページ「子機の電池パックを交換するとき」）**

  ➡ 再び電池パックを入れたときは、電池残量が少なく表示されます。充電してお使いください。

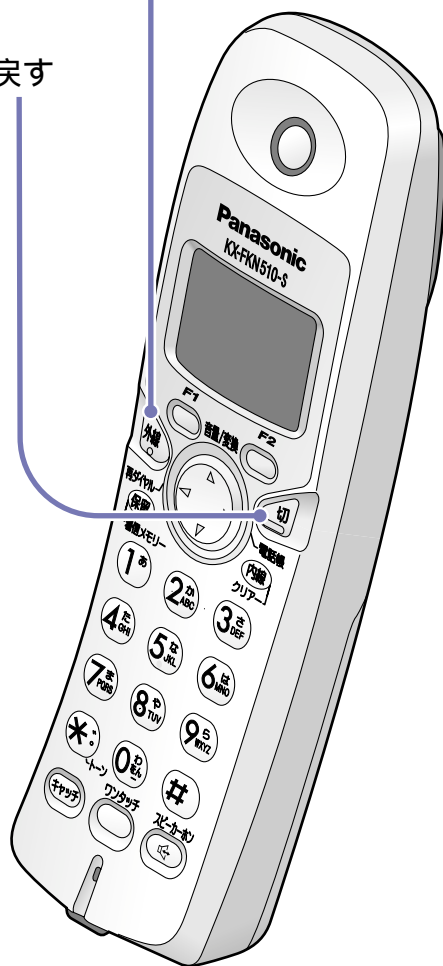
初めて子機をお使いになるときは、必ず充電してください。（☞ 7ページ）

電話をかける

1. 充電台から子機を取り、外線 を押す
2. 電話番号をダイヤルする
3. 終わったら 切 を押し、充電台に子機を戻す

電話を受ける

1. 呼出音が鳴ったら、充電台から子機を取る
   - 充電台に置いていないときは

2. 終わったら 切 を押し、充電台に子機を戻す

電話をかける

1. **受話器を取る**
2. **電話番号をダイヤルする**
3. **終わったら、受話器を戻す**

電話を受ける

1. **呼出音が鳴ったら、受話器を取る**
2. **終わったら、受話器を戻す**

留守セットする／解除する

1. **お出かけ前に [留守] を押して点灯させる**
   ➡ 応答メッセージが流れ、留守セットされる
2. **帰ってきたら [留守] を押して消灯させる**
   ➡ 留守セットが解除され、用件が録音されていれば再生される

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 危険

電池パックについて

■分解・改造しない

分解禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■火の中に捨てたり加熱しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■付属の電池パックを、この機器以外に使用しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■指定の電池パック以外は使用しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■⊕⊖端子を金属などに接触させない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

危険

電池パックについて

■専用の充電台とACアダプターを使用して指定の電池パックを充電する

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■液もれしたとき、“液”が目に入ると危険

失明の原因になります。

●こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

■分解・修理・改造しない

火災・感電の原因になります。

分解禁止

●修理は販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止

●ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因になります。

禁止

●ぬらした場合は、ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■ACアダプター・コードを破損するようなことはしない

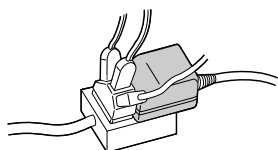
禁止

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●修理は販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■医用電気機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU*などには持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

禁止

*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

安全上のご注意　必ずお守りください

警告

■ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない

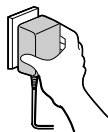
ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■雷が鳴ったら親機やACアダプター・電話機コードに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■ACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだACアダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ACアダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■水平でない場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により破損・けがの原因になることがあります。

■受話器を無理に引っ張らない

親機の落下により、けがの原因になることがあります。

■親機のアンテナに注意

誤って目にあてると、けがの原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

設置場所（こんなところには置かないでください）

- **ピアノなどの上**
  - ➡ キズがついたり、木材などの材質によっては本体の熱により、ひびわれや変色の原因になります。

- **火気や熱器具の近く**
  - ➡ 変形や故障の原因になります。

- **電気製品（テレビ、電子レンジ、パソコンなど）の近く**
  - ➡ 子機が使えなくなる原因になります。
（詳しくは ☞ 15ページ）

- **夏季の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近く**
  - ➡ 35℃以上、5℃以下になるところでは、誤動作・変形・故障の原因になります。

- **寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、すぐに、使用（接続）しないでください。
設置場所の温度になじむまでしばらく放置したあと使用（接続）してください。**
  - ➡ 結露が発生して、故障や誤動作の原因になります。

ご使用にあたって

- **本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。**

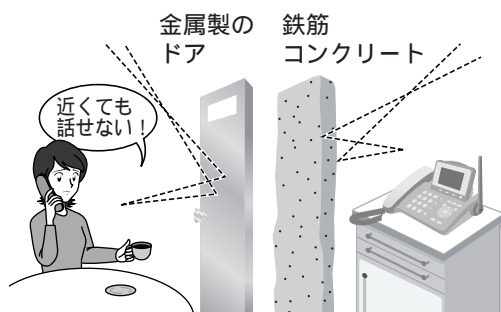
- **本機を分解・改造することは法律で禁じられています。
故障の際は、お買い上げの販売店に修理の依頼をしてください。**

- **登録した内容（電話帳など）で重要なものは、必ずメモするなどして保管してください。**
  - ➡ 使用誤りや静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、また故障・修理や使用中に電源が切れたときは、メモリーに記憶した内容が変化・消失する場合があります。
上記要因などにより、本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

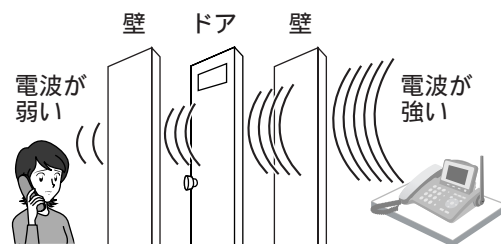
- **停電時は、親機の受話器を使って「外に電話をかける・受ける（キャッチホン切替含む）」ができます。
その他の機能や子機の電話機能は使えません。（ ☞ 71ページ）**

正しくお使いいただくためのお願い

コードレス子機について

● **親機と子機の間に下記のような障害物などがあると、電波が遮られて極端に弱くなります。このため親機との距離が近くても、プツプツ音がして電話の声が途切れたり、子機に「圏外」と表示されて使えないことがあります。**
- ・金属製のドアや雨戸
- ・アルミはく入りの断熱材が入っている壁
- ・コンクリートやトタン製の壁
- ・親機と別の階で子機を使うとき（親機を1階、子機を2階で使うときなど）
- ・親機と別の家屋で子機を使うとき（親機を母屋、子機を離れで使うときなど）

● **親機と子機の間に何も障害物がない場合、約100m以内の距離で使えます。**

● **木造の家屋内でも、親機と子機の間に壁などの障害物が多くなると電波が弱くなるため、親機と別の階や親機から離れた部屋では使えないことがあります。**

➡ 親機をなるべく障害物が少なくなるようなところに設置してください。

● **補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によっては子機で通話中に雑音が入ることがあります。**

➡ 聞き取りにくいときは、親機をお使いください。

コードレス子機の傍受について

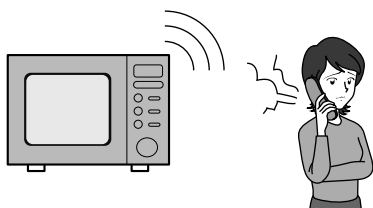
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使っての通話は、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機を使用されることをお勧めします。

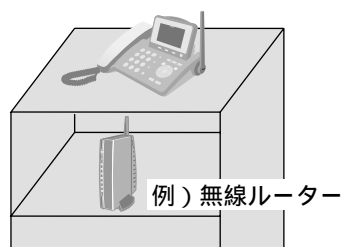
● **傍受（ぼうじゅ）とは、**無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

電波の干渉について

本機のコードレス子機は、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉により、本機や他の機器の動作や性能に悪影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

● **電子レンジなどを使用中に、近くで本機のコードレス子機を使用すると、電話の声がとぎれたり、使えなくなることがあります。**

➡ 親機は電子レンジなどから離して設置し（めやす：約3m以上)、子機も電子レンジなどの近くで使わないでください。

● **無線LAN機器（ルーター、AV機器、防犯機器など）を使用している環境で本機のコードレス子機を使うと、電話の声がとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。**

➡ 親機や子機を、無線LAN機器からなるべく離してご使用ください。下記のように本機と無線LAN機器本体を上下に設置すると、干渉を回避できることがあります。

● **その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、電話の声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。**

➡ なるべく、設置場所や使用場所を離してください。

- ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- その他、Bluetooth™ 対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

● **本機のコードレス子機は、2.4～2.4835 GHzの全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。**

2.4FH8

電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機のACアダプターを抜いて、お客様ご相談センター（☞ 74ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞ 74ページ）へお問い合わせください。

各部のなまえとはたらき（全体図）

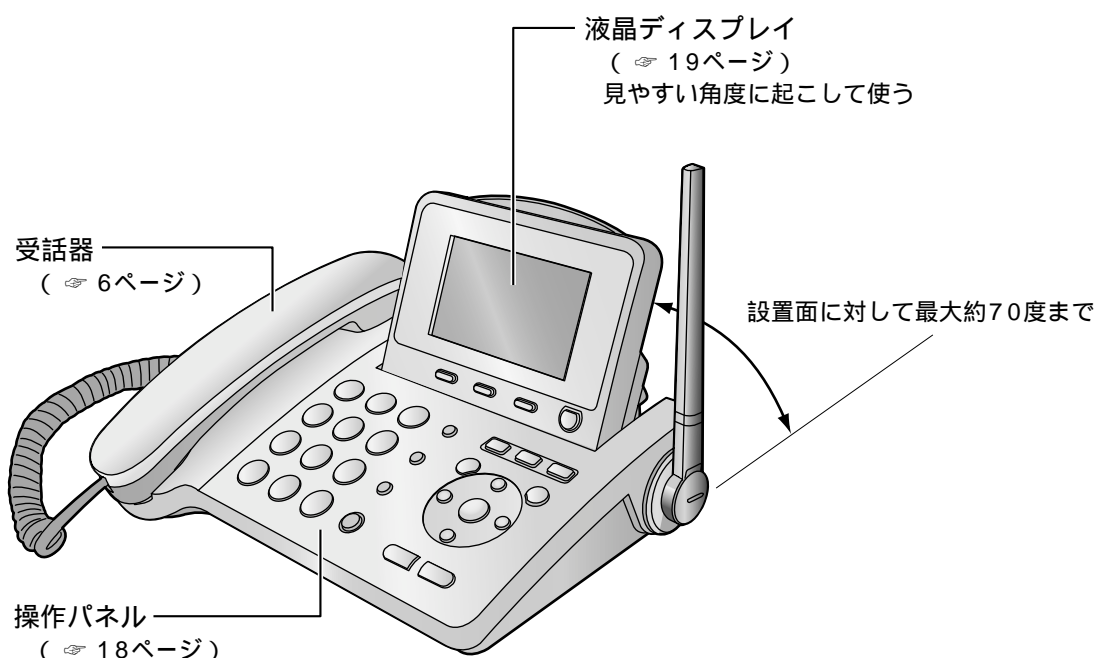
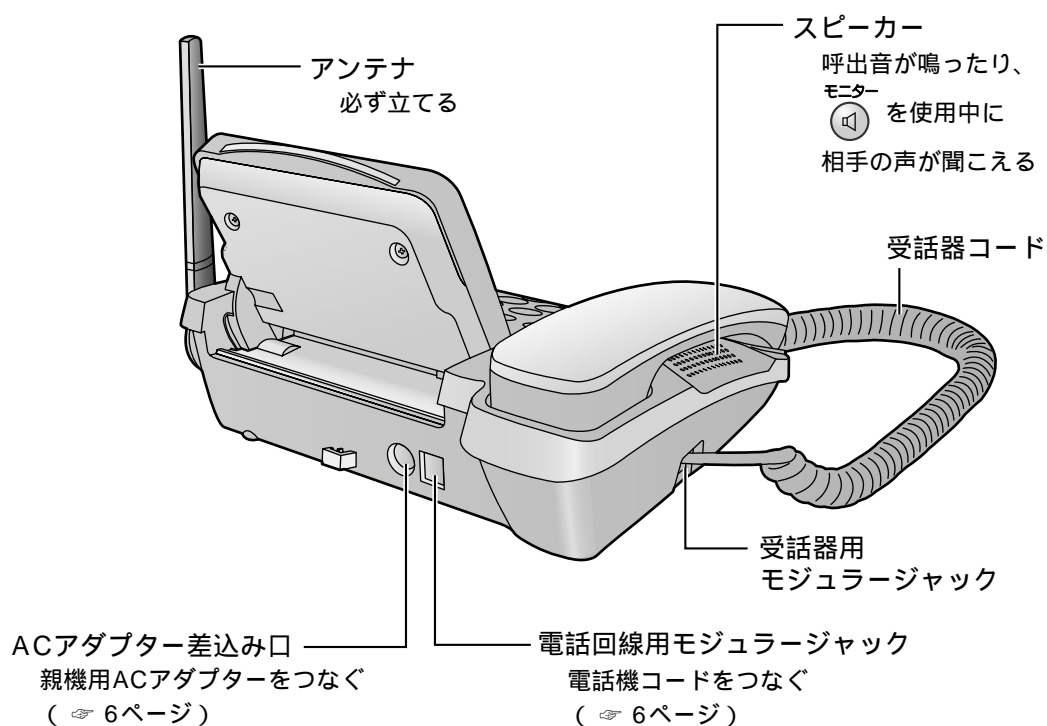
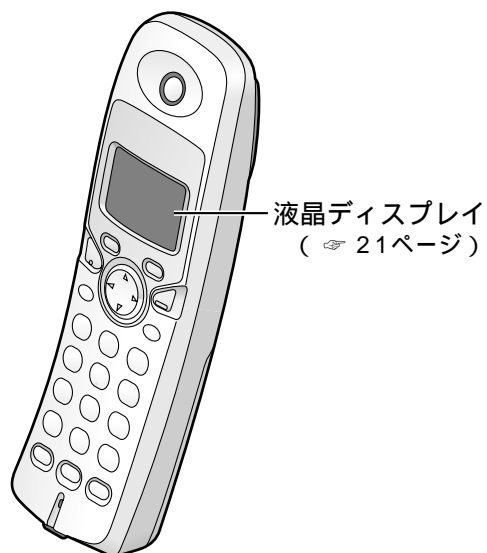
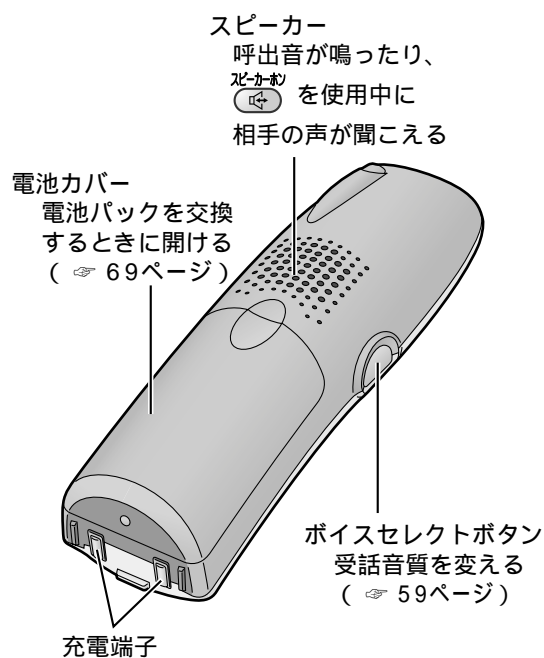
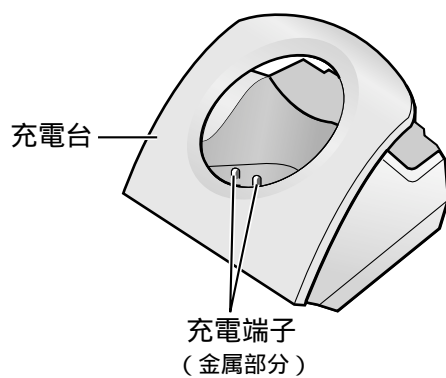
親　機

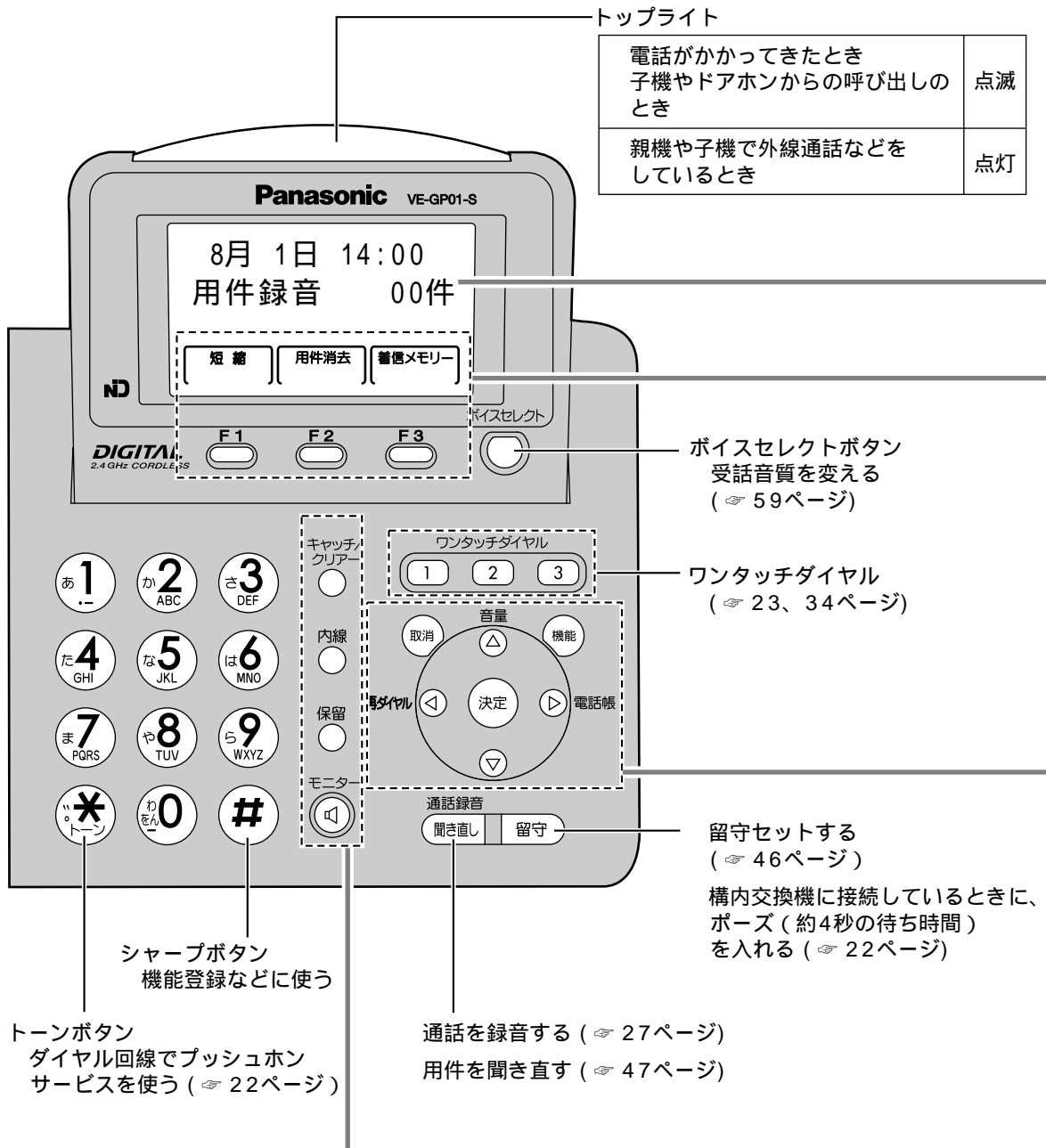
■ 正面／右側図

■ 背面／左側図

子　機

■ 正面

■ 背面

子機用充電台

各部のなまえとはたらき（親機操作部）

操作パネル

F1 F2 F3 の使いかた

各ボタンの上部に表示される「短縮」「用件消去」「着信メモリー」などを操作するときに押してください。

●**本書の手順では、下記のように表しています。**

短縮 F1　用件消去 F2　着信メモリー F3

●「短縮」「用件消去」「着信メモリー」などの表示は、操作手順によって変わります。

取消 ●操作や登録を途中でやめるとき使う

機能 ●機能登録を始めるときやワンタッチダイヤルを登録するときなどに使う

音量 ▽△ ●呼出音量・受話音量・スピーカー音量を変える (☞ 59ページ)
●漢字に変換する (☞ 38ページ)

再ダイヤル ◁ ●同じ相手にもう一度かける (☞ 23ページ)

▷ 電話帳 ●電話帳を使う (☞ 23、40ページ)

決定 ●機能登録で内容を決定するときなどに使う

液晶ディスプレイ

8月　1日　14:00
用件録音　　00件
iD かな カナ 英数 ◂▴▾▸ 非通知拒否 公衆電話拒否 呼出音切
短縮 | 用件消去 修正 | 着信メモリー 文字切替

上記は説明のためすべてを記載したもので、実際の表示とは異なります。

iD
ナンバー・ディスプレイの設定が「あり」になっているとき表示（ ☞ 52ページ）

モニター使用中に表示（ ☞ 23ページ）

かな カナ 英数
文字入力時に文字の種類を表示（ ☞ 36ページ）

◂▴▾▸
操作中に使えるボタンを表示

(例) ▴▾ の場合は 音量 △ ▽
◂ の場合は 再ダイヤル ◁

非通知拒否
非通知着信拒否を「する」に設定したとき表示（ ☞ 56ページ）

公衆電話拒否
公衆電話着信拒否を「する」に設定したとき表示（ ☞ 56ページ）

呼出音切
呼出音を鳴らさないように設定したとき表示（ ☞ 59ページ）

短縮 | 用件消去 修正 | 着信メモリー 文字切替

操作に合わせて必要な機能だけを表示

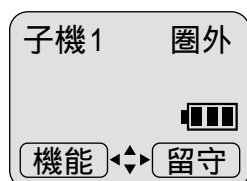
各部のなまえとはたらき（子機操作部）

操作パネル

液晶ディスプレイ

暗いところでも見えるバックライト付きです。

(時刻は表示されません)

子機1	圏外
	▮▮▮
機能 ◀▲▼▶	留守

上記は説明のためすべてを記載したもので、実際の表示とは異なります。

- 子機1 …… 待受時に子機の内線番号を表示(充電台に置いていると表示されません)
- 圏外 …… 親機からの電波が届かず、通話できないときに表示(親機に近づくと消えます)
- ▮▮▮ …… 電池残量を表示 (☞ 下記)
- 機能 …… 操作に合わせて必要な機能を表示 (F1 で操作)
- ◀▲▼▶ …… 操作中に使えるマルチファンクションキーの位置を表示
  - (例) ▲▼ 上または下が使える
  - ◀ 左が使える
- 留守 …… 操作に合わせて必要な機能を表示 (F2 で操作)

■ 電池残量表示の見かた

▮▮▮

約10時間充電したあとの使用時間のめやす

- **連続通話時間 ……約7時間**※
  (子機を持って続けて通話するとき)
  - **・スピーカーホンで通話する場合**
    ➡ 連続通話時間は子機を持って通話するときよりも短くなります。
- **待受時間 …………約180時間**※
  (充電台に置かずに一度も通話しないとき)
  - •「圏外」と表示されているときは、待受時間が短くなります。

※使用環境温度が20℃のとき

↓

▮▮

↓

▮ すぐに充電してください。

↓

待受時	通話中	その他
● 下記の表示になる 充電して ください	**● 4秒ごとに「ピピッ」と警告音が鳴る** (点滅)	**● ▭ だけが表示されたとき** ➡ 7ページの手順3

親機で電話をかける

ダイヤルしてかける以外に、再ダイヤル、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳を使ってもかけられます。

1 受話器を取り、ダイヤルする

2 話す

■ **音の大きさを変えるには（受話音量）**

➡ ▽ 音量△ を押す（☞ 59ページ）

■ **音質を変えるには（ボイスセレクト）**

➡ ボイスセレクト を押す（☞ 59ページ）

■ **通話中に待ってもらうには（保留）**

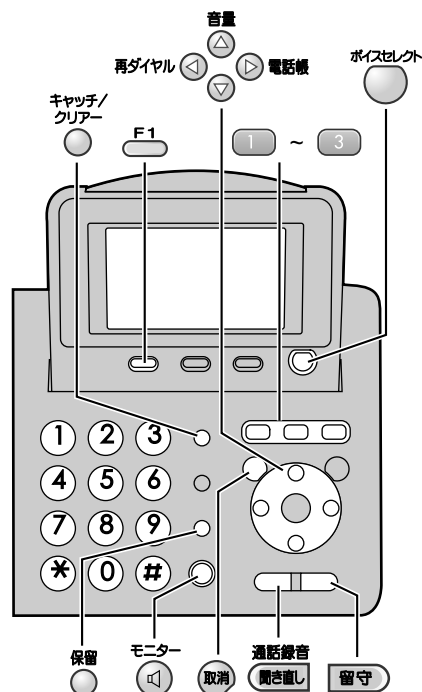
➡ 保留 を押す

通話に戻るには、もう一度 保留 を押す

■ **キャッチホンを受けるには**

➡ キャッチ/クリアー を押す

■ **通話を録音するには**

➡ 通話録音 聞き直し を押す（☞ 27ページ）

3 終わったら、受話器を戻す

お知らせ

● **構内交換機に接続しているとき**

➡ 外線発信番号のあとに 留守 **（ポーズ）**を押し、相手の電話番号をダイヤルしてください。

● **ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけてかけるとき（☞ 53ページ）**

● **ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき（トーン信号を送るとき）**

➡ 相手先につながったあと ✱ **（トーン）**を押してください。

同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル）

以前にかけた電話番号を、新しい順に10件まで記憶しています。

1 再ダイヤル◁ **を押す**

2 ▽ △ **で相手を選ぶ**

3 **受話器を取る**

● **記憶している相手の番号は消去できます。**
➡ 手順2で相手を選び、 キャッチ/クリアー   と押す。

ワンタッチダイヤルでかける

登録のしかた（☞ 34ページ）

1 **ワンタッチダイヤル（1～3）を押す**
➡ ダイヤルを開始し、相手につながるとスピーカーから声が聞こえる

2 **相手が出たら、受話器を取る**

● 先に受話器を取り、ワンタッチダイヤルを押してかけることもできます。

電話を切らずにかけ直す（かんたん再ダイヤル）

コンサートのチケット取りなどで相手につながりにくいとき、電話を切る操作を省いてかけ直せます。

1 **相手にダイヤルする**

2 **相手につながらなかったら、電話を切らずに** 再ダイヤル◁ **を押す**
➡ 自動的に電話を切ってかけ直す
● **相手につながらないとき**
➡ 手順2を繰り返す

電話帳でかける

登録のしかた（☞ 40ページ）

1 ▷電話帳 **を押す**

● **グループ別に相手を探すとき**
➡ 続けて # を押し、グループ番号（1～9）を押す。

● **名前の頭文字で相手を探すとき**
➡ 続けて、0～9 で名前（フリガナ）の頭文字を入力する。

2 ▽ △ **で相手を選ぶ**

3 **受話器を取る**

短縮ダイヤルでかける

登録のしかた（☞ 41ページ）

1 短縮 F1 **を押す**

2 **短縮番号（1～9）を押す**

3 **受話器を取る**

通話時間表示について

表示はめやすであり、実際の通話時間とは異なる場合があります。通話料金は、相手が出てからかかります。

```
09876543・・
通 話 時 間      0'18
```

通話時間（めやす）

モニターの使いかた

受話器を置いたまま電話をかけたり、天気予報などをスピーカーから聞くことができます。

● **モニターにするには** ➡ モニター を押す。
（もう一度 モニター を押すと、通話が切れます）

● モニター使用中、こちらの声は相手に聞こえません。
相手と話すときは、受話器を取ってください。

子機で電話をかける

ダイヤルしてかける以外に、再ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳を使ってもかけられます。

1 充電台から子機を取り、

[外線] を押し、ダイヤルする

2 話す

■ **音の大きさを変えるには（受話音量）**

➡ [音量/変換] を押す（ ☞ 59ページ）

■ **音質を変えるには（ボイスセレクト）**

➡ [ボイス] を押す（ ☞ 59ページ）

■ **通話中に待ってもらうには（保留）**

➡ [保留] を押す

（4秒ごとに「ピーッ」と鳴る）

通話に戻るには、もう一度 [保留] を押す

■ **キャッチホンを受けるには**

➡ [キャッチ] を押す

3 終わったら、

[切] を押し、充電台に子機を戻す

● 充電台から外したままにもできます

お知らせ

● **構内交換機に接続しているとき**

➡ 外線発信番号のあとに [ポーズ F2] を押し、相手の電話番号をダイヤルしてください。

● **ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」をつけてかけるとき（ ☞ 53ページ）**

● **ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき（トーン信号を送るとき）**

➡ 相手先につながったあと [＊ トーン] を押してください。

同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル）

以前にかけた電話番号を、新しい順に10件まで記憶しています。

1 再ダイヤル を押す

2 で相手を選ぶ

3 外線 を押す

● **記憶している相手の番号は消去できます。**
➡ 手順2で相手を選び、内線クリアー はい F1 切 と押す。

電話を切らずにかけ直す（かんたん再ダイヤル）

コンサートのチケット取りなどで相手につながりにくいとき、電話を切る操作を省いてかけ直せます。

1 **相手にダイヤルする**

2 **相手につながらなかったら、電話を切らずに 再ダイヤル を押す**

➡ 自動的に電話を切ってかけ直す
● **相手につながらないとき**
➡ 手順2を繰り返す

ワンタッチダイヤルでかける

登録のしかた（☞ 35ページ）

1 ワンタッチ **を押す**

➡ ダイヤルを開始し、相手につながると受話口から声が聞こえる

2 **相手が出たら、話す**

● 先に 外線 を押し、ワンタッチ を押してかけることもできます。

電話帳でかける

登録のしかた（☞ 42ページ）

1 電話帳 **を押す**

● **グループ別に相手を探すとき**
➡ 続けて # を押し、グループ番号（1～9）を押す。
● **名前の頭文字で相手を探すとき**
➡ 続けて、0～9 で名前（フリガナ）の頭文字を入力する。

2 **で相手を選ぶ**

3 外線 **を押す**

通話時間表示について

表示はめやすであり、実際の通話時間とは異なる場合があります。通話料金は、相手が出てからかかります。

時 間　0:00:18
09876543・・
← 通話時間（めやす）

スピーカーホンの使いかた

子機を置いたまま相手と話すことができます。相手の声はスピーカーから聞こえます。
話すときは、送話口に向かって話します。

● **スピーカーホンにするには** ➡ スピーカーホン を押す。
（もう一度 スピーカーホン を押すと、通常の通話になります）

● 通話中に相手の声が途切れる場合は、交互にお話しください。

電話を受ける

呼出音の種類（ベル／メロディ）や大きさは、あらかじめ変えておくことができます。（☞ 58、59ページ）

親機

1 受話器を取り、話す

■ **音の大きさを変えるには（受話音量）**

➡ 音量 ▽ △ を押す（☞ 59ページ）

■ **音質を変えるには（ボイスセレクト）**

➡ ボイスセレクト を押す（☞ 59ページ）

■ **通話中に待ってもらうには（保留）**

➡ 保留 を押す

通話に戻るには、もう一度 保留 を押す

■ **キャッチホンを受けるには** ➡ キャッチ／クリアー を押す

■ **通話を録音するには** ➡ 通話録音 聞き直し を押す（☞ 27ページ）

2 終わったら、受話器を戻す

子機

1 充電台から子機を取る

● 充電台に置いていないときは、外線 を押す

2 話す

■ **音の大きさを変えるには（受話音量）**

➡ 音量/変換 を押す（☞ 59ページ）

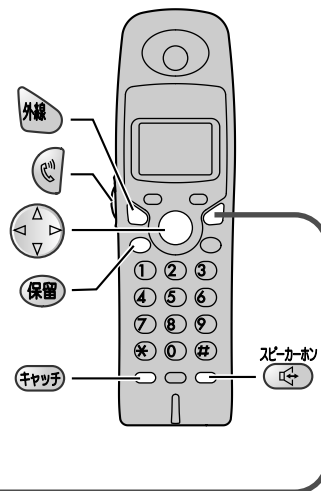
■ **音質を変えるには（ボイスセレクト）**

➡ を押す（☞ 59ページ）

■ **通話中に待ってもらうには（保留）**

➡ 保留 を押す（4秒ごとに「ピーッ」と鳴る）

通話に戻るには、もう一度 保留 を押す

■ **キャッチホンを受けるには** ➡ キャッチ を押す

3 終わったら、
切 を押し、充電台に子機を戻す

● 充電台から外したままにもできます

お知らせ

● 子機は充電台から取るだけで電話を受けられます。**（☞ 63ページ「オフフック応答」）**

● 子機を充電台に置いていないときは、切、以外のどのキーを押しても電話を受けられます。**（☞ 63ページ「エニーキーアンサー」）**

● 子機でスピーカーホンにするには、スピーカーホン を押す。

通話を録音する

親機で通話中の内容を、録音できます。
録音できる時間は、用件録音・自作応答メッセージと合わせて約18分です。

● **モニターでの通話、子機での通話、3者通話は、録音できません。**

録音する

1 通話中に 通話録音/聞き直し を押す

録音できる時間のめやす

残り約 15分 です

↓

通 話 録 音 中

2 録音を終わるには、取消 を押す

お知らせ

● 録音中にメモリーがいっぱいになると、下記の表示になり、録音できなくなります。

メモリーがいっぱい　U80
録 音 できません

再生する

1 通話録音/聞き直し を押す

2 再生が終わると…

再 生 した用 件 を消 去
する=＊ しない=#

■ 再生したすべての用件を消去するとき

➡ ＊ を押す

■ 再生した用件を残すとき

➡ # を押す

お知らせ

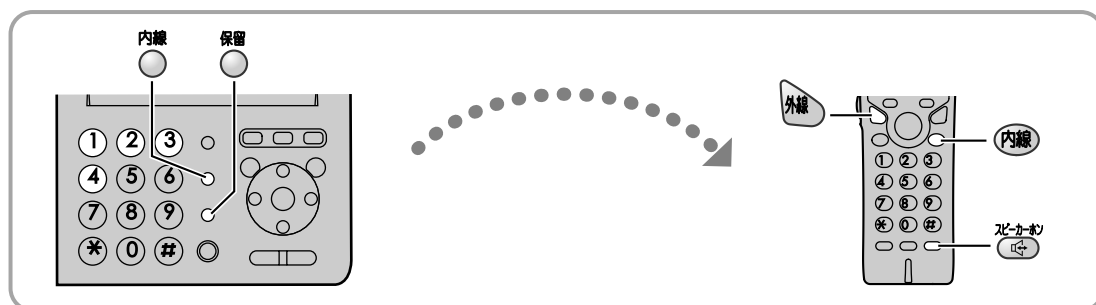
● 留守番電話に用件が録音されている場合は、その用件も再生されます。

● **録音した内容は、下記操作でも消せます。**

➡ 47ページ「用件を消去する」

親機から子機にまわす

外の相手との通話を子機にまわせます。

親機（まわす側）	子機（受ける側）

1 **外の相手と通話中に 内線 を押す**

■ **子機が2台以上やドアホンを接続しているときは、続けて子機の内線番号（①～④）を押す**

内 線 番 号 [12....]を押す

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる

呼び出す

呼出音が鳴ったら、
充電台から子機を取る
（または 内線 を押す）

2 **通話をまわすことを伝える**

子 機 1内 線 通 話 中 保 留 中

親機と話す

3 **受話器を戻す**

➡ 内線通話が切れ、子機と外の相手が通話できる

外の相手と話す

お知らせ

● 子機が出ないときや、内線通話中に外の相手との通話に戻るときは、 内線 を押します。

近くの子機にまわすには

1. 親機側で 保留 を押し、受話器を戻す
2. 子機を使う人に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
   ● 外の相手との通話に戻るときは、受話器を取る
3. 子機側で 外線 または スピーカーホン を押す

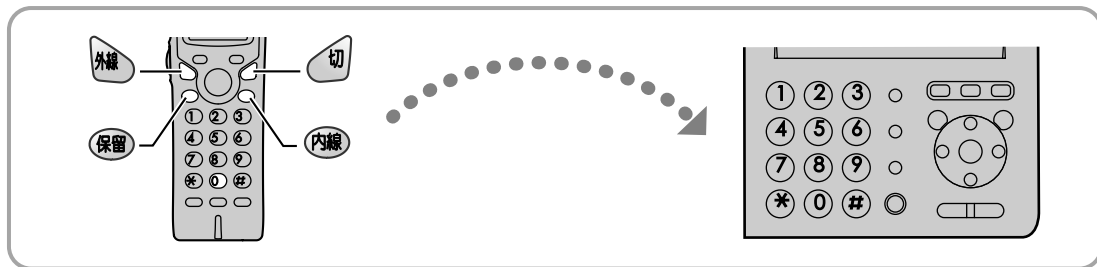
簡単取り次ぎを「あり」にしたとき（☞ 62ページ）

下記の手順でも通話をまわせます。

1. 子機を使う人に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
2. 子機側で 外線 を押す（3者通話になる）
3. 親機側は [3者 通 話 中] の表示になったら、受話器を戻す

子機から親機にまわす

外の相手との通話を親機にまわせます。

子機（まわす側）　親機（受ける側）

1 **外の相手と通話中に 内線 を押す**

■ 子機が2台以上やドアホンを接続しているときは、続けて親機の内線番号 0 を押す

保 留 中
内 線 番 号 ？

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる（外線 点滅）

呼び出す

呼出音が鳴ったら、受話器を取る

2 **通話をまわすことを伝える**

保 留 中
内 線 通 話 中

子機と話す

はーい

3 切 **を押す**

➡ 内線通話が切れ、親機と外の相手が通話できる（外線 消灯）

外の相手と話す

お知らせ

● 親機が出ないときや、内線通話中に外の相手との通話に戻るときは、外線 を押します。

近くの親機にまわすには

1. 子機側で 保留 を押す
2. 親機を使う人に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
   ● 外の相手との通話に戻るときは、外線 を押す
3. 親機側で受話器を取る

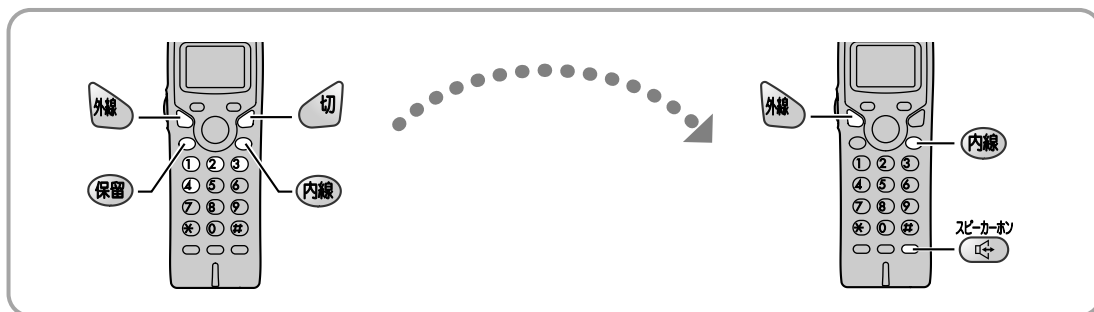
簡単取り次ぎを「あり」にしたとき（☞ 62ページ）

下記の手順でも通話をまわせます。

1. 親機を使う人に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
2. 親機側で受話器を取る（3者通話になる）
3. 子機側は 3者 通 話 中 の表示になったら、切 を押す

子機から別の子機にまわす

子機が2台以上のときは、子機で受けた電話を別の子機にまわせます。
● VE-GP01DLをお買い上げの場合、子機の増設が必要です。（☞ 64ページ）

子機（まわす側） **別の子機（受ける側）**

1 **外の相手と通話中に 内線 を押し、**
子機の内線番号（①～④）を押す

保 留 中
内 線 番 号 ？

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる（外線 点滅）

呼出音が鳴ったら、
充電台から子機を取る
（または 内線 を押す）

2 **通話をまわすことを伝える**

保 留 中
子 機 間 通 話 中

別の子機と話す

3 **切 を押す**

➡ 子機間通話が切れ、別の子機と外の相手が通話できる（外線 消灯）

外の相手と話す

お知らせ

● 別の子機が出ないときや子機間通話中に、外の相手との通話に戻るときは、外線 を押します。
● 簡単取り次ぎ（☞ 62ページ）は、はたらきません。

近くの別の子機にまわすには

1. 外の相手と通話中の子機側で 保留 を押す
2. 別の子機の相手に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
3. 別の子機側で 外線 または スピーカーホン を押す

親機と子機と外の相手の3人で話す（3者通話）

親機と子機と外の相手の3人が同時に話せます。

親機で3者通話にする

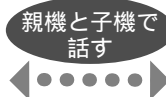
親機（かける側） ／ **子機（受ける側）**

1 **外の相手と通話中に 内線 を押す**

■ **子機が2台以上やドアホンを接続しているときは、続けて子機の内線番号（1～4）を押す**

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる

呼び出す

呼出音が鳴ったら、
充電台から子機を取る
（または 内線 を押す）

2 **3人で話すことを伝える**

3 **保留 を押し、3人で話す**

3者 通 話 中

3者 通 話 中

子機で3者通話にする

子機（かける側） ／ **親機（受ける側）**

1 **外の相手と通話中に 内線 を押す**

■ **子機が2台以上やドアホンを接続しているときは、続けて親機の内線番号 0 を押す**

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる（外線 点滅）

呼び出す

呼出音が鳴ったら、**受話器を取る**

2 **3人で話すことを伝える**

3 **保留 を押し、3人で話す**

3者 通 話 中

➡ 外線 点灯

3者 通 話 中

お知らせ

- 子機2台と、外の相手との3者通話はできません。
- 3者通話中の子機では、キャッチホンを受けられません。

簡単取り次ぎを「あり」にしたとき（ ☞ 62ページ）

下記の手順でも3者通話ができます。

➡ 子機が通話中に、親機で受話器を取る

➡ 親機が通話中に、子機で 外線 を押す

親機と子機・子機と子機で話す（内線通話・子機間通話）

子機どうしの通話は、親機を介して同時に2台までです。
子機が2台以上の場合、親機やすべての子機を一斉に呼び出すこともできます。**（一斉呼出）**
● VE-GP01DLをお買い上げの場合、子機の増設が必要です。（☞ 64ページ）

親機から子機にかける

親機（かける側） / **子機（受ける側）**

1 **受話器を取り、内線 を押す**

■**子機が2台以上やドアホンを接続しているときは、続けて子機の内線番号（①～④）を押す**

```
内線番号
    [12....]を押す
```

呼び出す →

呼出音が鳴ったら、充電台から子機を取る
（または 内線 を押す）

2 **話す**

3 終わったら、**受話器を戻す**

● 親機が通話を切ると、自動的に切れる

子機から親機にかける

子機（かける側） / **親機（受ける側）**

1 **内線 を押す**

■**子機が2台以上やドアホンを接続しているときは、続けて親機の内線番号 ⓪ を押す**

```
内線番号？
```

呼び出す →

呼出音が鳴ったら、**受話器を取る**

2 **話す**

3 終わったら、**切 を押す**

受話器を戻す

お知らせ

● 内線通話や子機間通話は、通話料金がかかりません。
● 内線通話中や子機間通話中に外から電話がかかってくると、呼出音が聞こえます。

➡ **親機で話すには**
1. 受話器を戻す（内線通話が切れる）
2. 受話器を取る（外の相手と話せる）

➡ **子機で話すには**
1. 切 を押す（内線通話や子機間通話が切れる）
2. 外線 を押す（外の相手と話せる）

子機から別の子機にかける（子機間通話）

子機どうしで双方向に通話できます。（ただし、スピーカーホンは使えません）

子機（かける側）		別の子機（受ける側）
1 （内線）を押し、別の子機の内線番号（①〜④）を押す 内 線 番 号 ？	呼び出す	呼出音が鳴ったら、 **充電台から子機を取る** （または（内線）を押す）
2 話す 		
3 終わったら、（切）を押す		● 自動的に切れる

親機やすべての子機を一斉に呼び出すには（一斉呼出）

➡ 親機から呼び出すには

1. 受話器を取り、（内線）を押す
2. （＊）を押す
   （すべての子機の呼出音が鳴る）
3. 電話に出た相手と話す

➡ 子機から呼び出すには

1. （内線）を押す
2. （＊）を押す
   （親機とすべての別の子機の呼出音が鳴る）
3. 電話に出た相手と話す

親機のワンタッチダイヤルに登録する

よくかける相手の電話番号を、ワンタッチダイヤルに**最大3件まで**登録できます。

● ワンタッチダイヤルでかけるには（☞ 23ページ）

1 機能 **を押し、ワンタッチダイヤル（1 ～ 3）を押す**

ワンタッチ　1
登 録 されていません

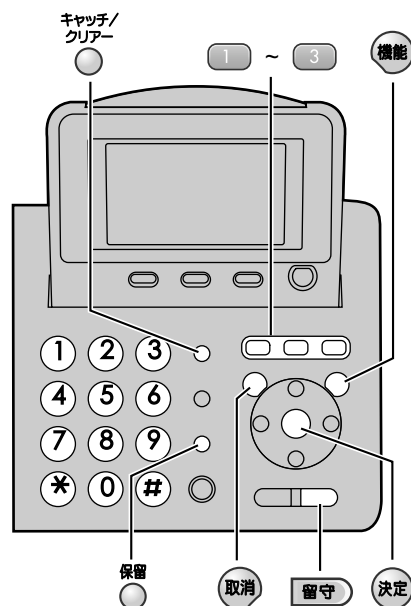
● 機能 **は省略できますが、登録済みのワンタッチダイヤルを押すと電話がかかってしまうのでお気をつけください**

2 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⊛⓪# **で電話番号を入力する**

（24ケタまで）

ワンタッチ　1　登 録
09876543‥█

● **まちがえたとき** ➡ キャッチ/クリアー を押す

3 決定 **を押す**

ワンタッチダイヤルを修正する

1 機能 **を押し、修正するワンタッチダイヤル（1 ～ 3）を押す**

2 修正する

● 修正のしかた（☞ 37ページ）

3 決定 **を押す**

ワンタッチダイヤルを消去する

1 機能 **を押し、消去するワンタッチダイヤル（1 ～ 3）を押す**

2 カーソルが先頭の位置で キャッチ/クリアー **を約2秒以上押して電話番号をすべて消去し、** 決定 **を押す**

■ **スペースを入れるとき** ➡ 保留 を押す。

■ **途中でやめるとき** ➡ 取消 を押す。

■ **電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」を入れるとき**

➡ 登録操作の手順2で、電話番号の前に「184」または「186」を入力し、留守 **（ポーズ）**を押す。（「P」が表示される）

子機のワンタッチダイヤルに登録する

よくかける相手の電話番号を、ワンタッチダイヤルに**1件のみ**登録できます。

● ワンタッチダイヤルでかけるには（☞ 25ページ）

1 機能F1 **を押し、** ワンタッチ **を押す**

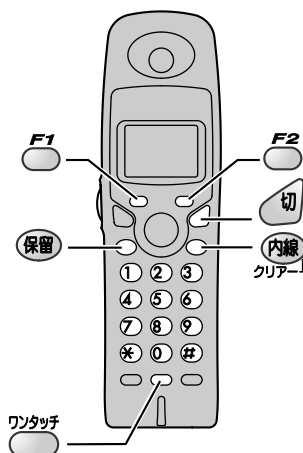
ワンタッチ
登録されて
いません

● 機能F1 **は省略できますが、登録済みのワンタッチダイヤルを押すと電話がかかってしまうのでお気をつけください**

2 ①〜⑨＊⓪# **で電話番号を入力する**

（24ケタまで）

ワンタッチ登録
09876543‥

● **まちがえたとき** ➡ 内線クリアー を押す

3 登録F1 **を押す**

ワンタッチダイヤルを修正する

1 機能F1 **を押し、** ワンタッチ **を押す**

2 **修正する**

● 修正のしかた（☞ 37ページ）

3 登録F1 **を押す**

ワンタッチダイヤルを消去する

1 機能F1 **を押し、** ワンタッチ **を押す**

2 **カーソルが先頭の位置で** 内線クリアー **を約2秒以上押して電話番号をすべて消去する**

3 登録F1 **を押す**

■ **スペースを入れるとき** ➡ 保留 を押す。

■ **途中でやめるとき** ➡ 切 を押す。

■ **電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」を入れるとき**

➡ 登録操作の手順2で、電話番号の前に「184」または「186」を入力し、ポーズF2 を押す。
（「P」が表示される）

文字入力のしかた

親機の電話帳の登録（☞ 40ページの手順2）や、子機の電話帳の登録（☞ 42ページの手順3）などで「ひらがな」「漢字」「カタカナ」「英字・記号」「数字」を入力できます。

1 親機は 文字切替 F3（子機は F2）で文字の種類（入力モード）を選ぶ

ボタンを押すごとに入力モードが切り替わる

「かな」 → 「カナ」 → 「英」 → 「数」

「かな」	「カナ」	「英」	「数」
ひらがな、漢字 カタカナ（全角）	ｶﾀｶﾅ（半角）	英字、記号	数字

2 文字を入れる（ダイヤルボタンの形状は親機のものです）

（例）すずき

す…③を3回押したあと ▷（子機は ◁▷）を押す

ず…③を3回押す

＊を1回押す

き…②を2回押す

■「漢字」にするとき

→ ▽（子機は ▽）を押す

詳しくは38、39ページへ

（例）スズキ

ス…③を3回押したあと ▷（子機は ◁▷）を押す

ズ…③を3回押す

＊を1回押す

キ…②を2回押す

（例）PANA

P…⑦を1回押す

A…②を1回押す

N…⑥を2回押す

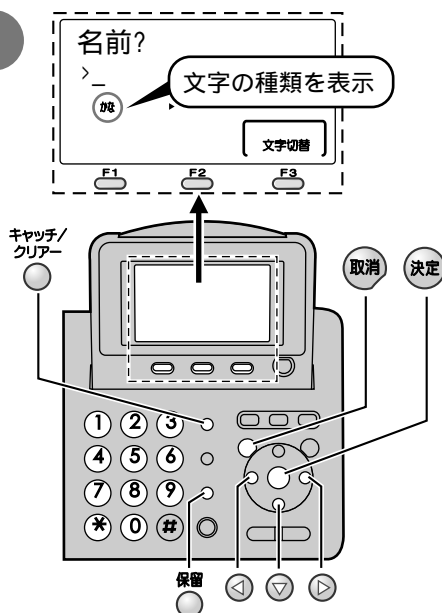
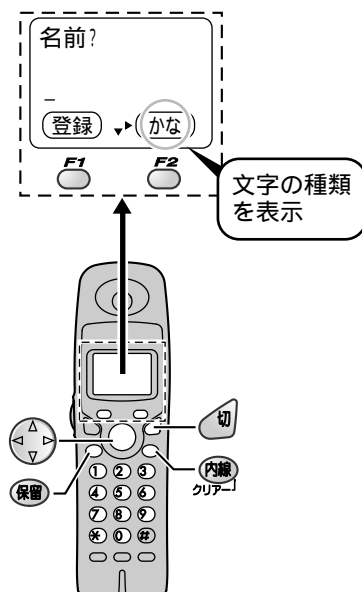
A…②を1回押す

（例）123

1…①を1回押す

2…②を1回押す

3…③を1回押す

3 「かな」モードの場合は、決定（子機は 決定 F1）で文字を確定する

同じボタンの文字を続けて入力する

親機は▷（子機は◁▷△▽）で■（カーソル）を右に移動させ、次の文字を入れる

スペースを入れる

親機は保留（子機は保留）を押す

■（カーソル）を移動する

親機は◁や▷（子機は◁▷△▽）を押す

途中で入力をやめる

親機は取消（子機は切）を押す

挿入・修正・消去する

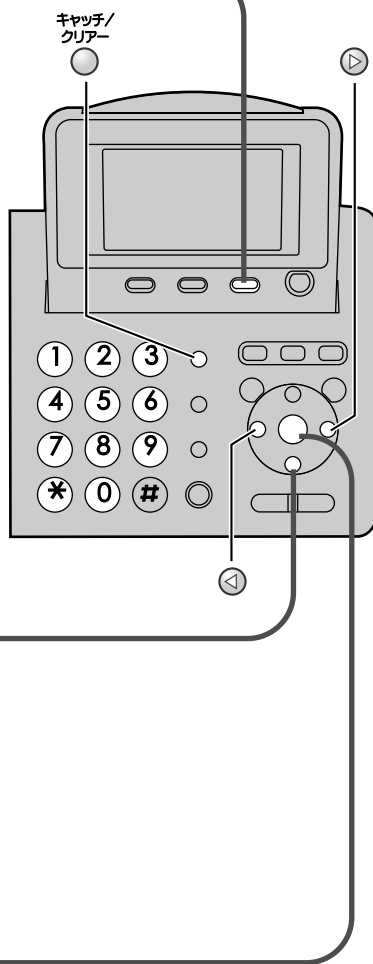
- 挿入 ➡ 1. 挿入する文字の次に■（カーソル）を移動させる
  2. 文字を入力する
- 修正 ➡ 1. 修正する文字に■を移動させる
  2. 親機はキャッチ/クリアー（子機は内線クリアー）で消し、文字を入れ直す
- 消去 ➡ 1. 消去する文字に■を移動させる
  2. 親機はキャッチ/クリアー（子機は内線クリアー）を押す
- 全消去 ➡ 1. 文字の先頭に■を移動させる
  2. 親機はキャッチ/クリアー（子機は内線クリアー）を約2秒以上押す

文字列一覧表（文字リスト）

ボタン（親機）	ボタン（子機）	かな	カナ	英	数
1	1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@（アットマーク） .（ドット） _（アンダーバー） -（ハイフン） & $ \ % + = ~ ^	1
2	2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	0	わをんー（長音） ! ? ( )	ワヲンー（長音） ! ? ( )	! ? / ー ＊ # , ; : ｜ . ' " ( ) [ ] { } 〈 〉 「 」	0
＊	＊	゛（濁点） ゜（半濁点） 、。		、。	
保留	保留	（スペース）			

- 最大入力文字数には、スペースも1文字分として含みます。
- 一覧表の文字とディスプレイに表示される文字の形は、異なることがあります。

漢字を入力する

入力した「ひらがな」は漢字に変換できます。

ひらがなの文字リスト

ダイヤルボタンを押すごとに、ボタンに割り当てられた文字が順番に表示されます。

ボタン ＼ 表示	かな
①	あいうえおぁぃぅぇぉ
②	かきくけこ
③	さしすせそ
④	たちつてとっ
⑤	なにぬねの
⑥	はひふへほ

ボタン ＼ 表示	かな
⑦	まみむめも
⑧	やゆよゃゅょ
⑨	らりるれろ
⓪	わをんー！？（ ）
⊛	゛゜、。

゛…濁点　゜…半濁点

お知らせ

- カタカナにも変換できます。
- 希望の漢字に変換できないとき
  ➡ 読みかた（音読み・訓読みなど）を変えて入力したあと、変換する。
- 希望の漢字に変換できないこともあります。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 親機と子機では、同じように変換しても変換結果が異なる場合があります。

親機の電話帳に登録する

よくかける相手の名前と電話番号を、グループ1～9に分けて、**最大150件まで**登録できます。

- 子機の電話帳に登録した内容を、親機の電話帳に転送（コピー）できます。（☞ 45ページ）
- 電話帳でかけるには（☞ 23ページ）

1 電話帳 を押し、機能 を押す

登録できる残りの件数を表示

```
電話帳空き XXX件
```

2 ①～⑨ⓧ⓪⓪# で名前を入力し（全角10文字／半角20文字まで）、決定 を押す

- 文字入力のしかた（☞ 36ページ）

```
鈴木■
>_
```

3 フリガナを確認し、決定 を押す

半角12文字まで

```
フリガナ?
スズキ
```

- **修正や追加するとき**
  ➡ フリガナを修正し、決定 を押す
  （修正のしかた ☞ 37ページ）

4 ダイヤルボタンで電話番号を入力し（24ケタまで）、決定 を押す

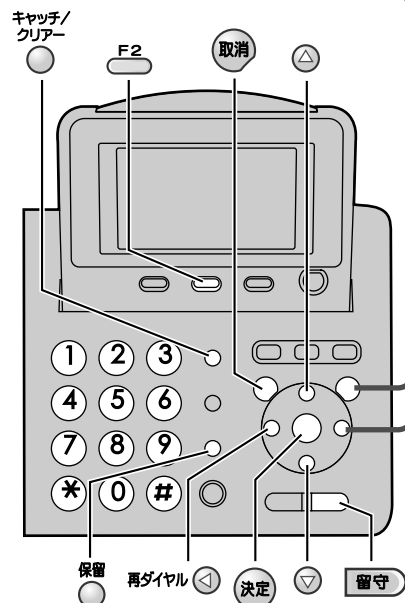
```
電話番号?
09876543■
```

- **まちがえたとき** ➡ キャッチ／クリアー を押す

5 ダイヤルボタンでグループ番号を入力し（1～9）、決定 を押す

変更しない場合は、グループ1に登録される

```
グループ=1
      [1-9]を押す
```

- **続けて登録するとき** ➡ もう一度手順2へ

6 取消 を押す

■ **スペースを入れるとき** ➡ 保留 を押す。

■ **途中でやめるとき** ➡ 取消 を押す。

■ **電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」を入れるとき**
➡ 手順4で、電話番号の前に「184」または「186」を入力し、留守 **（ポーズ）**を押す。（「P」が表示される）

グループ1～9に分けて登録すると…
- グループ別に電話帳を検索できます。（☞ 23ページ）
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用して、グループ別に呼出音を変更できます。（☞ 57ページ）

再ダイヤルから電話帳に登録する

1 再ダイヤル ◁ **を押す**

2 ▽ △ **で相手を選び、** 機能 **を押す**

3 **40ページの手順2からの操作をする**
- 電話番号の入力は不要です

電話帳を検索する

1 ▷ 電話帳 **を押す**
- **グループ別、または名前の頭文字で相手を探すこともできます。（☞ 23ページ）**

2 ▽ △ **で検索する**

3 **終わったら、** 取消 **を押す**

電話帳を修正する

1 ▷ 電話帳 **を押す**

2 ▽ △ **で修正する相手を選び、** 修正 F2 **を押す**

3 **40ページの手順2からの操作をする**

電話帳を消去する

1 ▷ 電話帳 **を押す**

2 ▽ △ **で消去する相手を選び、** キャッチ／クリアー **を押す**

3 ＊ **を押す**
- **続けて消去するとき** ➡ もう一度手順2へ

4 取消 **を押す**

お知らせ
- 時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）の4件が、あらかじめ登録されています。（修正・消去もできます）
- **ディスプレイに表示される順番**
  ➡ ▽ を押すと下記のフリガナ順で表示されます。
  数字→アルファベット→カナ→記号→電話番号（名前を登録していないとき）
  よくかける相手を先に表示させたいとき
  ➡ フリガナ登録時、最初に文字の種類を「数」にして3ケタの数字（001～150）を入れます。
- 電話帳は一度にすべて消去できます。（☞ 61ページ）

親機の短縮ダイヤルに登録する

電話帳に登録している相手を、短縮ダイヤルに**最大9件まで**登録できます。
- 短縮ダイヤルでかけるには（☞ 23ページ）

1 短縮 F1 **を押す**

2 **登録する短縮番号（**①**～**⑨**）を押す**

```
1.登 録 されていません
登 録 は[ 機 能 ]を押 す
```

- **すでに登録されているとき**
  ➡ 別の短縮番号を押す
- 登録先は ▽ △ で選ぶこともできます

3 機能 **を押す**

4 ▽ △ **で電話帳から相手を選ぶ**

5 決定 **を押す**

```
短 縮 1
登 録 しました
```

- **続けて登録するとき**
  ➡ もう一度手順2へ

6 取消 **を押す**

短縮ダイヤルを消去する

1 短縮 F1 **を押す**

2 **消去する短縮番号（**①**～**⑨**）を押す**

3 キャッチ／クリアー **を押し、** ＊ **を押す**

■ **途中でやめるとき** ➡ 取消 を押す。

■ **短縮ダイヤルを修正するには**
➡ 電話帳を修正する（☞ 左記）

お知らせ
- 電話帳を修正・消去すると、短縮ダイヤルも修正・消去されます。
- 短縮ダイヤルを消去しても、電話帳は消去されません。

子機の電話帳に登録する

よくかける相手の名前と電話番号を、グループ1～9に分けて、**最大150件まで**登録できます。

- 親機の電話帳に登録した内容を、子機の電話帳に転送（コピー）できます。（☞ 44ページ）
- 電話帳でかけるには（☞ 25ページ）

グループ1〜9に分けて登録すると…
- グループ別に電話帳を検索できます。（☞ 下記）
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用して、グループ別に呼出音を変更できます。（☞ 57ページ）

再ダイヤルから電話帳に登録する

1 再ダイヤル を押す

2 で相手を選び、登録 F1 を押す

3 42ページの手順3からの操作をする
- 電話番号の入力は不要です

電話帳を検索する

1 電話帳 を押す

- **グループ別に相手を探すとき**
  → 続けて # を押し、グループ番号（1〜9）を押す。
- **名前の頭文字で相手を探すとき**
  → 続けて、0〜9 で名前（フリガナ）の頭文字を入力する。

2 で検索する

3 終わったら、切 を押す

電話帳を修正する

1 電話帳 を押す

2 で修正する相手を選び、修正 F1 を押す

3 42ページの手順3からの操作をする

電話帳を消去する

1 電話帳 を押す

2 で消去する相手を選ぶ

3 内線 クリアー を押し、はい F1 を押す

- **続けて消去するとき** → もう一度手順2へ

4 切 を押す

■ **スペースを入れるとき** → 保留 を押す。

■ **途中でやめるとき** → 切 を押す。

■ **電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」を入れるとき**
→ 42ページの手順5で、電話番号の前に「184」または「186」を入力し、ポーズ F2 を押す。（「P」が表示される）

お知らせ

- 時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）の4件が、あらかじめ登録されています。（修正・消去もできます）
- **ディスプレイに表示される順番**
  → を押すと下記のフリガナ順で表示されます。
  数字→アルファベット→カナ→記号→電話番号（名前を登録していないとき）
  よくかける相手を先に表示させたいとき
  → フリガナ登録時、最初に文字の種類を「数」にして3ケタの数字（001〜150）を入れます。
- 電話帳は一度にすべて消去できます。（☞ 63ページ）

親機の電話帳を子機に転送する

転送（コピー）すると、子機に同じ相手を登録する手間が省けて便利です。

● **転送するときは、子機を親機の近くに持ってきてください。**

個別に転送する

1 **親機の 機能 を押し、**
 # 1 4 3 を押す

2 **決定 を押す**

電 話 帳 転 送

3 **■ 子機が1台のとき**

決定 を押す

転 送 先 =子 機 1
選 択 は[◀▶] を押 す

■ 子機が2台以上のとき

◁ ▷ で転送先を選び、決定 を押す

転 送 先 =子 機 2
選 択 は[◀▶] を押 す

4 **決定 を押す**

電 話 帳 =個 別
選 択 は[◀▶] を押 す

5 **▽ △ で転送する内容を選ぶ**

● 0 ～ 9 で名前の頭文字を入力して
▽ △ で選ぶこともできます

6 **決定 を押す**

転 送 開 始 は
[決 定] を押 す

⋮

転 送 しました

↓

（転送した内容を表示）

● **続けて転送するとき**
➡ もう一度手順5へ

7 **終わったら、取消 を押す**

一括して転送する

1 **親機の 機能 を押し、**
 # 1 4 3 を押す

2 **決定 を押す**

電 話 帳 転 送

3 **■ 子機が1台のとき**

決定 を押す

転 送 先 =子 機 1
選 択 は[◀▶] を押 す

■ 子機が2台以上のとき

◁ ▷ で転送先を選び、決定 を押す

転 送 先 =子 機 2
選 択 は[◀▶] を押 す

4 **◁ ▷ で「一斉」を選び、決定 を押す**

電 話 帳 =一 斉
選 択 は[◀▶] を押 す

5 **決定 を押す**

転 送 開 始 は
[決 定] を押 す

⋮

×××件　転 送 しました

↓

電 話 帳 転 送

● **続けて別の子機に転送するとき**
➡ もう一度手順2へ

6 **終わったら、取消 を押す**

お知らせ

● 転送する内容と同じものが、すでに転送先に登録されている場合、その内容は追加登録されません。
● 転送先に同じ名前があっても、電話番号やグループ番号が異なるときは追加登録されます。
● **一括して転送するとき**
➡ ▽ を押して表示される順番で転送されます。
➡ 転送先の電話帳の空き件数が0件になると、自動的に転送を終了します。
➡ 登録されている件数により、転送時間が長くなることがあります。

子機の電話帳を親機に転送する

転送（コピー）すると、親機に同じ相手を登録する手間が省けて便利です。

- **転送するときは、子機を親機の近くに持ってきてください。**
- **子機が2台以上の場合でも、子機から子機への電話帳転送はできません。**

個別に転送する

1 子機の 機能F1 を押す

2 ◁▷ で「電話帳転送」を選び、決定F1 を押す

着信鳴り分け
電話帳転送
電話帳消去

3 決定F1 を押す

電話帳転送
個別
一斉

4 ◁▷ で転送する内容を選ぶ

- 0 ～ 9 で名前の頭文字を入力して ◁▷ で選ぶこともできます

5 決定F1 を押す

⋮

転送しました

⬇

（転送した内容を表示）

- **続けて転送するとき**
  ➡ もう一度手順4へ

6 終わったら、切 を押す

一括して転送する

1 子機の 機能F1 を押す

2 ◁▷ で「電話帳転送」を選び、決定F1 を押す

着信鳴り分け
電話帳転送
電話帳消去

3 ◁▷ で「一斉」を選び、決定F1 を押す

電話帳転送
個別
一斉

4 決定F1 を押す

⋮

転送しました
XXX件

⬇

着信鳴り分け
電話帳転送
電話帳消去

5 終わったら、切 を押す

お知らせ

- 転送する内容と同じものが、すでに転送先に登録されている場合、その内容は追加登録されません。
- 転送先に同じ名前があっても、電話番号やグループ番号が異なるときは追加登録されます。
- **一括して転送するとき**
  ➡ ◁▷ を押して表示される順番で転送されます。
  ➡ 転送先の電話帳の空き件数が0件になると、自動的に転送を終了します。
  ➡ 登録されている件数により、転送時間が長くなることがあります。

留守セットする

お買い上げ時の設定では、お出かけ前に［留守］を点灯させておくだけで、自動的に用件の録音ができます。

● **応答メッセージをあなたの声で録音できます。**（☞ 48ページ「自作応答メッセージに変える」）

1 **お出かけ前に**

［留守］を押して点灯させる

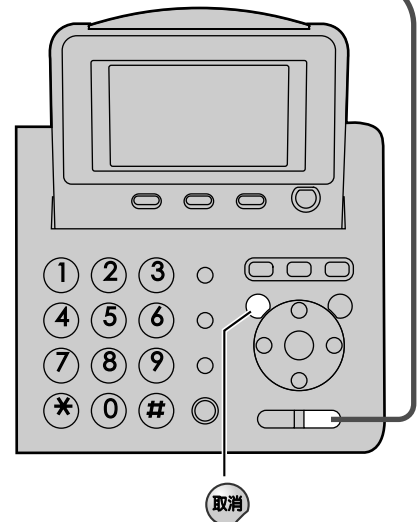
➡ 応答メッセージが流れ、留守番電話に設定される

● **応答メッセージを止めるには➡ ［取消］を押す**

● **留守セットしても、残っている用件は消えません**

用件録音できる時間のめやす

残り約15分です
応答メッセージ：固定

固定：固定応答メッセージ
自作：自作応答メッセージ（☞ 48ページ）

子機で留守セットするには

1. ［留守 F2］を押し、［＊］を押す

2. ［切］を押す

相手が電話をかけてくると

本機では

「呼出音」が4回鳴ってからつながる

● 呼出音の回数を変えられます。（☞ 61ページ「留守着信呼出音の回数」）

応答メッセージが流れたあと、用件を録音します

● スピーカーから相手の声が聞こえます。

■ **留守番電話の応答中に電話に出るには**

➡ 親機は受話器を取る。（子機は［外線］を押す）

用件録音は途中で止まり、1件分として残ります。

用件録音時間と件数について

● **1件当たりの録音可能時間は2分／最大／応答専用（0分）の中から選べます。（お買い上げ時：2分）**（☞ 60ページ「用件録音時間を変える」）

● **合計約18分、件数では最大50件まで録音できます。**

- 録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。
- 録音時間には、通話録音や自作応答メッセージも含みます。

● メモリーがいっぱいになると、応答メッセージは用件録音ができないとき（応答専用）の固定応答メッセージに切り替わります。（☞ 48ページ）

● 8秒以上無音が続いたときや、声が小さいときは、用件を録音できません。

用件を聞く

1 **帰ってきたら、留守 を押して消灯させる**

➡ 留守セットが解除され、新しく録音された件数・用件・曜日・時刻が再生される

録音した日付・時刻

```
01件目 再生中 03
 8月 1日 13:45
```

2 **再生が終わると…**

```
再生した用件を消去
する=＊ しない=#
```

■ **再生した新しい用件を消去するとき➡ ＊ を押す**

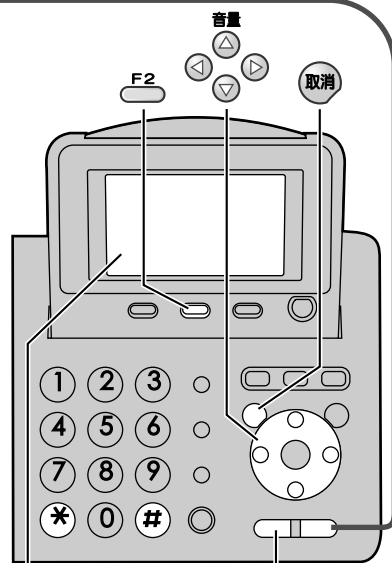
■ **再生した用件を残すとき➡ # を押す**

子機で用件を聞くには

1. 留守 F2 を押し、0 を押す

● スピーカーホン を押すと、受話口から聞こえます。

2. 終わったら、切 を押す

こんなこともできます

再生中にできること	親機での操作	子機での操作
音の大きさを変える	音量 ▽ △ を押す	音量/変換 を押す
再生中の用件を聞き直す	聞き直し を押す	――――
次の用件に進んで再生する	進む分だけ ▷ を押す(例：2つ先→2回)	進む分だけ ▷ を押す(例：2つ先→2回)
前の用件に戻り再生する	戻る分だけ ◁ を押す(例：2つ前→2回)	戻る分だけ ◁ を押す(例：2つ前→2回)
再生をやめる	取消 を押す(再び再生するには 聞き直し を押す)	# を押す(再び再生するには 4 を押す)
再生中の用件を消去する(1件ずつ消去する)	再生中に 用件消去 F2 ＊ と押す	――――

待受中に すべての用件を聞き直す	聞き直し を押す	留守 F2 4 と押す

用件を消去する

すべて消去する

1 用件消去 F2 **を押す**

● 未再生の用件があると、右記が表示される

```
用件全消去
再生されていません
```

2 ＊ **を押す**

```
すべて消去しますか?
はい=＊ いいえ=#
```

● **消去を中止するとき** ➡ # を押す

一件ずつ消去する

1 聞き直し **を押し、消去する用件を再生中に** 用件消去 F2 **を押し、** ＊ **を押す**

自作応答メッセージに変える

あなたの声で応答メッセージを録音できます。（自動的に録音したメッセージに切り替わります）

● メモリーがいっぱいのときは録音できません。不要な用件を消してから録音してください。

1 （機能）を押し、（#）（1）（4）（7）を押す

2 （決定）を押す

自 作 応 答 録 音

3 録音する

❶ 受話器を取る

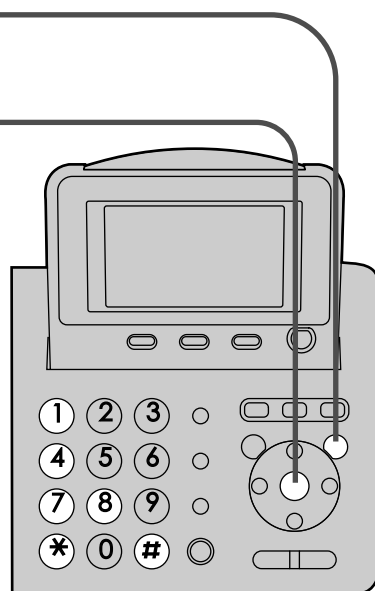
受 話 器 を
取 ってくだ さい

❷ （決定）を押し、「ピー」音のあと受話器に向かって録音する（16秒以内）

録 音 中
█>>>>>>>

録音時間の経過を█で表示

❸ 終わったら、（決定）を押し、受話器を戻す

➡ 録音されたメッセージを1回再生する

固定応答メッセージに戻すには

録音した自作応答メッセージを消してください。

1. （機能）を押し、（#）（1）（4）（8）を押す
2. （決定）を押す

自 作 応 答 消 去

3. （＊）を押す

お知らせ

● **あなたの声で応答メッセージを録音していても、用件録音ができないときは、固定応答メッセージに切り替わります。（☞ 下記）**

固定応答メッセージについて

こんなとき	内容
通常	ただいま留守にしております。「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。
用件録音ができないとき • メモリーがいっぱいのとき • 50件録音されているとき	ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。

お出かけ前に／暗証番号を登録する

外出先から留守番電話の用件を聞くことができます。
外出前にあらかじめ暗証番号を登録してください。

1 留守番電話の暗証番号を登録する

2 お出かけ前に、留守セットする

3 外出先から操作する（☞ 50ページ）

留守番電話の暗証番号を登録する

1 機能 **を押し、** # 0 0 6 **を押す**

2 暗証番号を入力し（4ケタ）、
決定 **を押す**

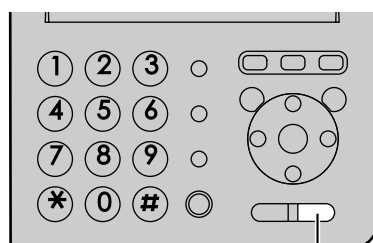
```
暗 証 番 号 =1234
         [ 4桁 ]
```

● * や # は使えません

● **まちがえたとき** ➡ キャッチ/クリアー を押す

3 取消 **を押す**

お出かけ前に、留守セットする

留守 **を押して点灯させる**

外出先からの電話代節約のために（トールセーバー）

外から電話して、新しい用件の有無を確かめることができる機能です。
「留守着信呼出音の回数」の設定（☞ 61ページ）を「トールセーバー」にしてください。

外から電話をかける

▶ 新しい用件メッセージがあると**呼出音3回以内**で留守番電話が応答します ▶ **暗証番号を押し、用件を聞く**

▶ 新しい用件メッセージがないと**呼出音4〜6回**で留守番電話が応答します

3回目の呼出音が終わったところで電話を切ると通話料金はかかりません

外出先から操作する（留守番電話のリモート操作）

トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機を使って、外出先から留守番電話を操作できます。
- あらかじめ暗証番号の登録が必要です。（☞ 49ページ）

1 外から電話をかける

2 応答メッセージが聞こえている間に 暗証番号を押す

新しい用件があるとき　用件が◯件あります

新しい用件がないとき　用件が録音されていません

（終わるには、電話を切る）

3 新しく録音された用件を聞くには 4秒待つ、または 2 を押し、用件を聞く

- 一度聞いた用件は再生されません。何度も聞けるようにするには（☞ 61ページ「留守電リモート再生」）

4 電話を切る

再生前の4秒間や再生終了後にできること

- 留守セットを解除する……………… 0 を押す
- 用件転送ができるようにする……… 7 を押す
- 用件転送をやめる…………………… 9 を押す
- すべての用件を聞き直す…………… 4 を押す（一度聞いた用件も再生される）
- すべての用件を消す（再生終了後のみ）…6 を押し、「消去します。6を押してください。」のメッセージのあと再び 6 を押す

お知らせ

- 手順2で「用件が録音されていません」と聞こえても、4秒以内に 4 を押すと、すべての用件の聞き直しができます。
- 用件転送（7、9）は、あらかじめ転送先の登録が必要です。（☞ 51ページ）

再生中にできること

- 前の用件に戻る………………………… 1 を押す
- 再生中の用件を聞き直す…………… 2 を押す
- 次の用件に進む………………………… 3 を押す
- 遅聞き再生（ゆっくり再生）をする … 4 を押す
- 早聞き再生（早く再生）をする …… 5 を押す
- 再生速度を元に戻す ……4 または 5 を押す
- 再生を中止する………………………… # を押す
- 再生中の用件を消す …6 を押し、「消去します。6を押してください。」のメッセージのあと再び 6 を押す
- 押しまちがえたとき …正しい番号を押し直す

外出先から留守セットするには

外出前にあらかじめ「在宅応答」の設定を「あり」にしてください。（☞ 61ページ）

1. 外から電話をかける
2. 本機が応答したら、メッセージが聞こえている間に暗証番号を押す
3. 「留守設定をしました」と聞こえたら、電話を切る

留守番電話に録音された用件を転送する

留守番電話に録音された用件を外出先の電話や携帯電話・PHSなどに転送できます。
- あらかじめ暗証番号の登録が必要です。（☞ 49ページ）

転送先の電話番号を登録する

1 親機の (機能) を押し、
(#) (1) (4) (2) を押す

2 ◁ ▷ で「する」を選び、
(決定) を押す

用件転送 =する
選択は[◀▶]を押す

3 転送先の電話番号を入力し（24ケタまで）**、**
(決定) を押す

転送先 =0987654

- **まちがえたとき** ➡ (キャッチ/クリアー) を押す
- 留守番電話の暗証番号を登録していないときは、暗証番号の入力画面が表示される
  ➡ 4ケタで入力し、(決定) を押す

4 (取消) を押す

■ 用件転送を解除するには
➡ 手順2で「しない」を選ぶ。

■ 転送先の電話番号を変更するには
➡ 手順3で (キャッチ/クリアー) を押し、電話番号を入れ直す。

転送先で用件を聞くには

転送先で電話を受けて転送された用件を聞くには、トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機を使って操作してください。

1 本機の留守番電話に用件が録音されたら登録された電話番号に本機から電話がかかる
- 約50秒以内に転送先の電話に出ないときは、電話が切れる

2 転送先で電話を受ける

こちらは留守番電話です。用件を転送しますので、暗証番号を入れてください。

3 暗証番号を押す

用件が○件あります。

4 4秒待つ、または 2 を押し、用件を聞く

再生します。

5 電話を切る

お知らせ

- **オート再ダイヤル**…転送先が電話に出ないときは、1分間隔で3回まで自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、さらに30分間隔で3回まで自動的にかけ直します。
- 本機をホームテレホンや構内交換機に接続しているときは、転送できない場合があります。
- **本機で、かかってきた電話を直接転送することはできません。**
  NTTのボイスワープサービスを利用すると、直接転送できます。

NTTのボイスワープサービスのお問い合わせ先：
NTT窓口
☎ 116（通話料金無料）
受付時間　9：00～17：00（土・日・祝も受付）
定休日　12月29日～1月3日

ナンバー・ディスプレイサービスを使うには

本機は、NTT※の ナンバー・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ に対応しています。(※NTT：NTT東日本、NTT西日本)

1 **NTTと契約する（有料）**
- **NTT窓口（☞ 右記）にお申し込みください**

2 **ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイの設定**
➡ 本機の設定は不要です

キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、本機の設定を行ってください（☞ 下記）

3 **契約の約2～3日後にサービスが利用できます**

ナンバー・ディスプレイサービス、ネーム・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先：

NTT窓口
☎ 116（通話料金無料）
受付時間　9：00～17：00
（土・日・祝も受付）
定休日　12月29日～1月3日

お願い
- **電話機を並列に接続しないでください。**（誤動作の原因になります）

お知らせ
- **NTTの他のサービスと同時に使えない場合があります。** ➡ お問い合わせはNTT窓口へ。
- **ネーム・ディスプレイは、地域によって利用できない場合があります。** ➡ お問い合わせはNTT窓口へ。
- **ISDN回線に接続するとき**
  ➡ ターミナルアダプターの設定が必要です。（ターミナルアダプターの取扱説明書をお読みください）
- **ホームテレホン、構内交換機に接続するとき** ➡ ナンバー・ディスプレイ機能は使えません。

キャッチホン・ディスプレイの設定をする

NTTへ契約の申し込みをしてから、設定を「あり」にしてください。サービスが開始されると、通話中にかかってきた相手の電話番号が約30秒間表示され、着信メモリーに記憶されます。

1 機能 **を押し、** # 1 3 7 **を押す**

2 ◁ ▷ **で「あり」を選び、**
決定 **を押す**

```
ｷｬｯﾁ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ=あり
  選択は[◀▶]を押す
```

「あり」：利用するとき
「なし」：利用をやめるとき

3 取消 **を押す**

ナンバー・ディスプレイサービスの利用をやめるとき

NTTへ解約の連絡をしてから、設定を「なし」にしてください。

1 機能 **を押し、** # 1 3 3 **を押す**

2 ◁ ▷ **で「なし」を選び、**
決定 **を押す**

```
ﾅﾝﾊﾞｰ･D設定=なし
  選択は[◀▶]を押す
```

「自動」：サービスが利用できるようになると、自動的に「あり」になります（お買い上げ時の設定）
「あり」：利用するとき
「なし」：利用をやめるとき

3 取消 **を押す**

お知らせ
- **再度、ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、**NTTと契約したあと、手順2で「自動」または「あり」を選んでください。

電話を受けるとき／かけるとき

電話を受けるとき

電話がかかってくると、相手の電話番号が表示されます

（子機）
09876543‥

	（親機）	（子機）
■ **電話帳に登録した相手の場合** ➡ 名前も表示する	木 村 09876543‥	木 村 09876543‥
■ **ネーム・ディスプレイをご利用の場合** ➡ 名前（最大10文字）と電話番号を表示する (電話帳に登録した相手のときは、電話帳の名前が表示される)	松 下 太 郎 09876543‥	松 下 太 郎 09876543‥

- **名前が表示されないとき**
  ➡ かけてきた相手が、名前を通知するようにNTTに申し込んでいないことがあります。
- **本機で表示できない漢字があると、自動的に「※」に変わります。**

■ **相手の電話番号を表示できない場合のディスプレイ表示**

表示	説明
非 通 知	…非通知でかかってきたとき
公 衆 電 話	…公衆電話からかかってきたとき
表 示 圏 外	…海外や一部の携帯電話などからかかってきたとき
表 示 で゛きません	…回線状況が悪かったときなど（子機は 外 線 着 信 中 と表示される）

こんなことができます

■ **着信メモリー**…かけてきた相手（留守番電話も含む）の電話番号を記憶しています（ ☞ 54ページ）
■ **迷惑電話着信拒否** （ ☞ 55ページ）
■ **非通知着信拒否** （ ☞ 56ページ）
■ **公衆電話着信拒否** （ ☞ 56ページ）
■ **着信鳴り分け** （ ☞ 57ページ）

電話番号を通知して電話をかける

下記の2種類があります。
■ NTTに「通常通知（通話ごと非通知）」を申し込む
■ NTTに「通常非通知」を申し込んでいる場合

1 「186」をダイヤルする

2 「プププ…」音が聞こえたら、相手先をダイヤルする

電話番号を通知せずに電話をかける

下記の2種類があります。
■ NTTに「通常非通知（回線ごと非通知）」を申し込む
■ NTTに「通常通知」を申し込んでいる場合

1 「184」をダイヤルする

2 「プププ…」音が聞こえたら、相手先をダイヤルする

お知らせ

- 「通常通知」、「通常非通知」に関するお問い合わせは、NTT窓口へ。（ ☞ 52ページ）
- 名前も通知したいときは、「発信者名」を通知するようにNTT窓口に申し込んでください。
- 発信電話番号を通常通知・通常非通知のどちらにしているか確かめたいときや、発信者名の通知に関するお問い合わせは、NTT窓口へ。（ ☞ 52ページ）

かけてきた相手の電話番号を見る／使う（着信メモリー）

相手の電話番号と日付が親機のメモリーに**最大30件まで**記憶され、あとで見たり、電話をかけたりできます。
● ネーム・ディスプレイをご利用の場合、かけてきた相手が名前を通知するようにNTTに申し込んでいると、名前も表示されます。（☞ 53ページ）

親機

1 着信メモリー F3 **を押す**

2 ▽ **を押す**

● 押すごとに新しいデータから表示される

3 ■ **電話をかけるには ➡ 受話器を取る**

■ **終わるには ➡** 取消 **を押す**

● 検索がすべて終わっていなくても「＊」が消える

こんなこともできます

■ **電話帳に登録する**
➡ 手順2で相手を選び、機能 ＊ と押し、登録操作をする。（☞ 40ページの手順2へ）

■ **選んだ相手だけを消す**
➡ 手順2で相手を選び、キャッチ/クリアー ＊ と押す。

■ **着信メモリーをすべて消す**
➡ 着信メモリー F3 キャッチ/クリアー ＊ と押す。

子機

1 保留 着信メモリー **を押す**

2 ◁△▷▽ **を押す**

● 押すごとに新しいデータから表示される

3 ■ **電話をかけるには ➡** 外線 **を押す**

■ **終わるには ➡** 切 **を押す**

● 検索がすべて終わっていなくても「＊」が消える

こんなこともできます

■ **電話帳に登録する**
➡ 手順2で相手を選び、登録 F1 を押し、登録操作をする。（☞ 42ページの手順3へ）

■ **選んだ相手だけを消す**
➡ 手順2で相手を選び、内線 クリアー はい F1 と押す。

■ **着信メモリーをすべて消す**
➡ 保留 着信メモリー 内線 クリアー はい F1 と押す。

お知らせ

● 着信した日付・時刻は、親機・子機とも、親機に登録されている時刻によって記憶されます。
● 「非通知」「公衆電話」「表示圏外」の場合も着信メモリーに記憶されます。
「表示できません」（子機は「外線着信中」）の場合は、記憶されません。
● **「184」や「186」をつけてかけたいとき（親機のみ）**
1. 「184」または「186」をダイヤルし、留守 **（ポーズ）**を押す
2. 着信メモリー F3 を押し、▽ △ で相手を選び、受話器を取る

いやな相手の電話を受けないようにする（迷惑電話着信拒否）

特定の相手からの電話を受けないよう、迷惑電話に登録できます。

● **最大30件まで登録できます。**

着信メモリーから登録する

1 着信メモリー F3 **を押す**

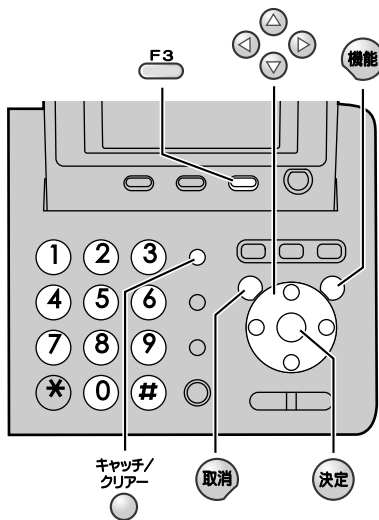
2 ▽ △ **で相手を選ぶ**

3 機能 **を押す**

4 ＃ **を押す**

```
電話帳=＊
迷惑　=#
```

5 決定 **を押す**

● **続けて登録するとき** ➡ もう一度手順2へ

6 取消 **を押す**

電話番号を入力して登録する

1 機能 **を押し、** ＃ ① ③ ⑥ **を押す**

2 ◁ ▷ **で「あり」を選び、**

決定 **を押す**

```
迷惑拒否=あり
　選択は[◀▶]を押す
```

3 **相手の電話番号を入力し**（20ケタまで）、

決定 **を押す**

```
TEL01=09876543█
```

● **まちがえたとき** ➡ キャッチ/クリアー を押す

● **続けて登録するとき** ➡ 手順3を繰り返す

4 取消 **を押す**

■ **修正・追加するには**

➡ 手順3で ▽ △ を押して修正する番号や空き番号を選ぶ。

着信拒否した相手がかけてきたとき

呼出音は鳴りません。相手に「プープープー」と話し中の音が聞こえます。
（ISDN回線でご利用の場合、ターミナルアダプターによっては、話し中の音にならないときもあります）

■ **迷惑電話着信拒否をすべて解除するには**

➡「電話番号を入力して登録する」の手順2で「なし」を選ぶ。

■ **迷惑電話着信拒否を個別に解除するには**

➡「電話番号を入力して登録する」の手順3で ▽ △ を押して相手の番号を表示させ、キャッチ/クリアー で番号を消す。

お知らせ

● キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってきた電話番号を表示しますが、着信拒否ははたらきません。

非通知の電話を受けないようにする（非通知着信拒否）

相手が非通知でかけてきた電話を、本機で受けないようにできます。
（かけてきた相手には通話料金がかかります）

1 **親機の** 機能 **を押し、**
1 8 4 **を押す**

2 ◁ ▷ **で「する」を選び、**
決定 **を押す**

非通知拒否 =する
選択は[◀▶]を押す

3 取消 **を押す**

相手が非通知でかけてきたとき

呼出音は鳴りません。
相手に下記のメッセージを2回流したあと、電話が切れます。

あなたの電話番号は通知されていません。
恐れ入りますが、電話番号の前に「186」をつけて、おかけ直しください。

公衆電話を受けないようにする（公衆電話着信拒否）

公衆電話でかけてきた電話を、本機で受けないようにできます。
（かけてきた相手には通話料金がかかります）

1 **親機の** 機能 **を押し、**
1 8 6 **を押す**

2 ◁ ▷ **で「する」を選び、**
決定 **を押す**

公衆電話拒否 =する
選択は[◀▶]を押す

3 取消 **を押す**

相手が公衆電話でかけてきたとき

呼出音は鳴りません。
相手に下記のメッセージを2回流したあと、電話が切れます。

公衆電話からはおつなぎできません。
恐れ入りますが、公衆電話以外から、おかけ直しください。

■ **非通知着信拒否や公衆電話着信拒否を解除するには**
➡ それぞれ、手順2で「しない」を選ぶ。

お知らせ

- 「表示圏外」、「表示できません」（子機は「外線着信中」）と表示されたときは、着信拒否できません。
- 相手が非通知や公衆電話でかけてくると、相手にメッセージを流しているときに親機のディスプレイに「非通知」や「公衆電話」と表示されます。親機では、表示中に電話に出て話すこともできます。
- 非通知や公衆電話でかかってきた電話も、着信メモリーに記憶されます。
- キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってくると「非通知」や「公衆電話」と表示しますが、着信拒否ははたらきません。

相手によって呼出音を変える（着信鳴り分け）

電話帳に登録したグループ（1～9）・非通知・公衆電話・表示圏外（表示できない相手）からの電話の呼出音を、それぞれ変えることができます。

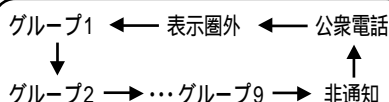
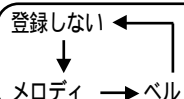
● あらかじめ、電話帳の電話番号をグループに分けて登録してください。（☞ 40、42ページ）

親　機

1 **［機能］を押し、［#］［1］［3］［5］を押す**

2 **［決定］を押す**

着 信 鳴 り分 け

3 **◁ ▷ で鳴り分けする相手を選び、［決定］を押す**

4 **◁ ▷ で「ベル」または「メロディ」を選び、［決定］を押す**

5 **呼出音の番号を入力し**（ベル：1～5、メロディ：1～4）、**［決定］を押す**

➡ 呼出音の番号を入力すると、選んだベルやメロディが流れる

● **続けて登録するとき**

➡ もう一度手順3へ

6 **［取消］を押す**

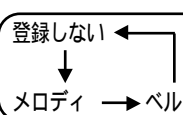
子　機

1 **［機能 F1］を押し、［十字キー］で「着信鳴り分け」を選ぶ**

ｴﾆｰｷｰ ｱﾝｻｰ
着 信 鳴 り 分 け
電 話 帳 転 送

2 **［決定 F1］を押す**

3 **［十字キー］で鳴り分けする相手を選び、［変更 F1］を押す**

4 **［十字キー］で「ベル」または「メロディ」を選び、［決定 F1］を押す**

5 **呼出音の番号を入力し**（ベル：1～5、メロディ：1～4）、**［登録 F1］を押す**

➡ 呼出音の番号を入力すると、選んだベルやメロディが流れる

● **続けて登録するとき**

➡ もう一度手順3へ

6 **［切］を押す**

■ **着信鳴り分けを解除するには**

➡ 手順4で「登録しない」を選ぶ。（58ページ「呼出音（ベル／メロディ）を変える」で選んだ設定に戻る）

お知らせ

● キャッチホン・ディスプレイでは、通話中にかかってきた電話番号を表示しますが、着信鳴り分けははたらきません。

● 呼出音の種類は下記のとおりです。

種類	呼出音の番号		内　容
	（親機）	（子機）	
ベル	①～⑤	①～⑤	5種類のベルがあります
メロディ	①	①	愛の挨拶
	②	②	花のワルツ
	③	③	カノン
	④	④	G線上のアリア

呼出音（ベル／メロディ）を変える

外から電話がかかってきたときの呼出音を下記の中から選べます。（内線からの呼出音は、変更できません）
（お買い上げ時の設定：ベル「1」）

種類	呼出音の番号		内　容
	（親機）	（子機）	
ベル	①～⑤	①～⑤	5種類のベルがあります
メロディ	①	①	愛の挨拶
	②	②	花のワルツ
	③	③	カノン
	④	④	G線上のアリア

親　機

1 （機能）を押し、（#）（0）（5）（4）を押す

2 ◁ ▷で「ベル」または「メロディ」を選び、（決定）を押す

呼出音＝メロディ
選択は[◀▶]を押す

3 呼出音の番号を入力し、（決定）を押す

例）「メロディ」のとき

メロディ＝1
[1-4]を押す

➡ 呼出音の番号を入力すると、選んだベルやメロディが流れる

4 （取消）を押す

子　機

1 機能 F1 を押し、（十字キー）で「呼出音設定」を選ぶ

オフフック応答
呼出音設定
キー確認音

2 決定 F1 を押す

3 変更 F1 を押す

4 （十字キー）で「ベル」または「メロディ」を選び、決定 F1 を押す

呼出音
メロディ
ベル

5 呼出音の番号を入力し、登録 F1 を押す

➡ 呼出音の番号を入力すると、選んだベルやメロディが流れる

6 （切）を押す

音の大きさを変える（呼出音量／受話音量／スピーカー音量）

呼出音や相手の声が聞きとりにくいときは、音の大きさを変えることができます。

音量の種類	下記のときに変更できます	変更できる範囲	
		親　機	子　機
呼出音量	電話をかけていないとき	8段階、呼出音「切」	3段階、呼出音「切」
受話音量	通話中	3段階	3段階
スピーカー音量※	親機：（モニター）を押したときや留守番電話の再生中	8段階、「切」	2段階
	子機：（スピーカーホン）を押したときや留守番電話の再生中		

※親機で「切」に設定しても、いったん待受状態に戻ると「レベル2」の音量になります。

呼出音を鳴らさないとき（呼出音「切」）

● 親機・子機ともに、内線からの呼び出しは最小の呼出音量で鳴ります。

音質を変える（ボイスセレクト）

外線通話中のみ、ボイスセレクトボタンを押して受話音質を変えることができます。（3段階）

お知らせ

● モニターでの通話（子機はスピーカーホンでの通話）、内線通話、ドアホン通話時は、変更できません。
● 一度設定すると、次に設定するまで変わりません。

親機の機能を変える

日付・時刻を合わせる

あらかじめ設定されていますが、ずれているときは合わせてください。
（1ヵ月に約60秒ずれることがあります）

1 機能 **を押し、** # 0 0 1 **を押す**

2 **年・月・日・時刻**（24時間式）**を入力する**

2003年 10月 01日
15：45

例）2003年10月1日15時45分
②⓪⓪③ ①⓪ ⓪① ①⑤ ④⑤ と押す

● **まちがえたとき**
➡ ◁ ▷ でカーソルを合わせ、入れ直す

3 決定 **を押す**

4 取消 **を押す**

手動で電話の回線種別を設定する

回線種別を自動設定できないときは、プッシュ回線か、ダイヤル回線かを手動で設定してください。

1 機能 **を押し、** # 0 7 9 **を押す**

2 ◁ ▷ **で回線種別を選び、**
決定 **を押す**

回線種別＝プッシュ
選択は[◀▶]を押す

「プッシュ」：プッシュ回線
「20」　　：ダイヤル回線 速度20 pps
「10」　　：ダイヤル回線 速度10 pps
「自動」　：自動設定（お買い上げ時の設定）

3 **「プッシュ」「20」「10」のいずれかを選んだときは** 取消 **を押す**

●「自動」を選んだときは、自動設定を開始する

回線種別がわからないとき

「プッシュ」で登録する
↓ 電話がかからないとき
「20」で登録する
↓ 電話がかからないとき
「10」で登録する
↓ 電話がかからないとき
NTT窓口（☎116）にお問い合わせください

用件録音時間を変える

1件の録音時間を「2分」「最大」「応答専用（0分）」の中から選べます。
（お買い上げ時の設定：2分）

1 機能 **を押し、** # 0 3 0 **を押す**

2 ◁ ▷ **で選び、** 決定 **を押す**

3 取消 **を押す**

「応答専用」について

電話に出られないことだけを相手に知らせて、用件を録音したくないときに選びます。

■ 自作応答メッセージを録音しないとき
➡ 下記の固定応答メッセージが流れます。

> ただいま留守にしております。
> 恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。

■ 自作応答メッセージを録音するとき
➡ 録音したメッセージが流れます。
下記のような応答専用メッセージを録音してください。（☞ 48ページ）
（例）

> ただいま外出しております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。

お知らせ

●「最大」に設定したときの録音可能時間は、約18分です。（録音に無音状態が含まれると、長くなります）ただし、メモリー内に以下のデータがあると短くなります。
・通話録音や用件録音（☞ 27、46ページ）
・自作応答メッセージ（☞ 48ページ）

つづく>>>

使いかたに合わせて下記の機能を変更・登録できます。
お買い上げ時は、[　]のついている内容に設定されています。

機能登録一覧表（設定のしかた）

 機能 ▶ コード番号を押す ▶ ◁ ▷ で項目を選ぶ ▶ 決定 ▶ 取消

大項目	機能	コード番号	変更・登録できる内容	参照ページ
最初の設定	日付・時刻	#001	現在の日付・時刻を設定する	60
	電話回線種別	#079	電話の回線の種別を選ぶ [自動]／プッシュ／20／10	60
呼出音とベル回数	呼出音	#054	親機の呼出音を選ぶ（子機でも設定できます） ベル　：[1]／2／3／4／5 メロディ：1／2／3／4	58
	在宅応答	#112	外出先から留守セットできるようにするとき「あり」を選び、電話に出るまで呼出音を鳴らし続けるとき「なし」を選ぶ あり／[なし] ●「あり」に設定すると、約15回呼出音が鳴ったあと本機が自動的に応答する	—
	留守着信呼出音の回数	#121	留守時に応答メッセージを流すまでの、呼出音の回数を選ぶ 2回／[4回]／6回／9回／トールセーバー（☞ 49ページ）	—
電話帳の設定	電話帳転送	#143	親機の電話帳の内容を子機に転送する （子機から親機への転送もできます ☞ 45ページ）	44
	電話帳全消去	#144	親機の電話帳の内容をすべて消去する （手順：コード番号を押したあと 決定 ＊ と押す）	—
留守番電話の設定	暗証番号	#006	外出先から留守番電話を操作するための暗証番号を登録する	49
	用件録音時間	#030	1件当たりの録音時間を選ぶ [2分]／最大／応答専用	60
	留守電リモート再生	#127	リモート操作のとき、用件を再生する回数を選ぶ 繰り返し／[1回]	—
	用件転送	#142	録音された用件を外出先の電話に転送するか、しないかを選ぶ する（転送する）／[しない]（転送しない） ●「する」に設定したとき、転送先の電話番号を登録する	51
	自作応答録音	#147	自分の声で応答メッセージを録音する	48
	自作応答消去	#148	自分の声で録音した応答メッセージを消去する （固定応答メッセージに戻る）	48
ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイ	#133	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、「自動」または「あり」を選び、利用をやめるとき「なし」を選ぶ [自動]／あり／なし	52
	キャッチホン・ディスプレイ	#137	キャッチホン・ディスプレイサービスを使うとき「あり」を選び、利用をやめるとき「なし」を選ぶ あり／[なし]	52
	着信鳴り分け	#135	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、相手によって呼出音を変える ●電話帳のグループ（1〜9）、非通知、公衆電話、表示圏外（表示できない相手）の電話ごとに設定できる	57

親機の機能を変える

機能登録一覧表（設定のしかた）

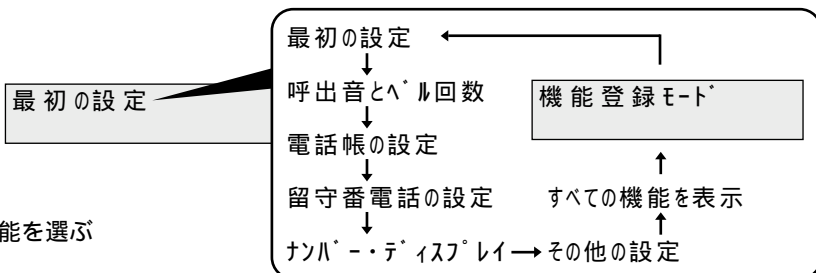
機能 ▶ コード番号を押す ▶ ◁ ▷ で項目を選ぶ ▶ ▶

大項目	機　能	コード番号	変更・登録できる内容	参照ページ
ナンバー・ディスプレイ	非通知着信拒否	＃184	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、非通知の電話を受けるか、受けないかを選ぶ する（受けない）／しない（受ける）	56
	公衆電話着信拒否	＃186	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、公衆電話を受けるか、受けないかを選ぶ する（受けない）／しない（受ける）	56
	迷惑電話着信拒否	＃136	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、迷惑電話を受けるか、受けないかを選ぶ あり（受けない）／なし（受ける） ●「あり」に設定したとき、拒否する電話番号を登録する	55
その他の設定	キー確認音	＃058	ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ あり（出す）／なし（出さない）	—
	簡単取り次ぎ	＃068	電話のまわしかたを、3者通話から電話をまわすようにするか、しないかを選ぶ あり（3者通話からまわす）／なし（3者通話からまわさない）	—
	PAD設定	＃150	電話局からの距離に応じて送受話音量などのレベルを自動調節するか、しないかを選ぶ 自動／固定 ●通話中にハウリングが起きるときは、「固定」を選ぶ	—
	ドアホン設定	＃160	自動／なし ●ドアホンを使わなくなったときは「なし」を選ぶ	67
	ドアホンワープ	＃162	外出先でドアホンを受けるか、受けないかを選ぶ なし／留守／あり ●「留守」または「あり」に設定したとき、転送先の電話番号を登録する	68
すべての機能を表示	1. 機能 を押す 2. 右記の表示になるまで ▽ △ を押し、決定 を押す　［表示：すべての機能を表示］ 3. ▽ △ を押す ➡ **61、62ページのすべての機能を表示する**			

ディスプレイを見ながら機能を探して選ぶこともできます

1. 機能 を押す
2. ▽ △ で
   機能の大項目を選ぶ
3. 決定 を押す
4. ▽ △ で変更・登録する機能を選ぶ
5. ◁ ▷、決定 などを押して変更・登録する
6. 終わったら、取消 を押す

［表示：最初の設定］

最初の設定 → 呼出音とベル回数 → 電話帳の設定 → 留守番電話の設定 → ナンバー・ディスプレイ → その他の設定 → すべての機能を表示 → 機能登録モード → 最初の設定

子機の機能を変える

使いかたに合わせて、下記の機能を変更・登録できます。
お買い上げ時は、　　　のついている内容に設定されています。

機能登録一覧表（設定のしかた）

機能 F1 ▶ で機能を選ぶ ▶ 決定 F1 ▶ で項目を選ぶ または F1 、文字入力など ▶ ▶

機　能	変更・登録できる内容	参照ページ
子機の名前	子機に名前を付ける	下記
クイック通話	充電台から子機を取るだけで、電話をかけるようにするとき「あり」を選び、外線 を押してからかけるようにするとき「なし」を選ぶ あり／なし	—
オフフック応答	充電台から子機を取るだけで、電話を受けるようにするとき「あり」を選び、外線 や 内線 を押してから受けるようにするとき「なし」を選ぶ あり／なし	—
呼出音設定	子機の呼出音を選ぶ ベル：1／2／3／4／5　　メロディ：1／2／3／4	58
キー確認音	ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ あり（出す）／なし（出さない）	—
エニーキーアンサー	切 、 以外のどのキーを押しても電話を受けるようにするとき「あり」を選び、外線 または スピーカーホン （内線呼出時は 内線 または スピーカーホン ）を押してから受けるようにするとき「なし」を選ぶ あり／なし	—
着信鳴り分け	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、相手によって呼出音を変える ● 電話帳のグループ（1〜9）、非通知、公衆電話、表示圏外（表示できない相手）の電話ごとに設定できる	57
電話帳転送	子機の電話帳の内容を親機に転送する （親機から子機への転送もできます ☞ 44ページ）	45
電話帳消去	子機の電話帳の内容をすべて消去する （手順： で機能を選んだあと 決定F1 決定F1 はいF1 と押す	—

子機に名前を付ける

あなたの好きな名前を子機に登録できます。

1 機能 F1 **を押し、 で「子機の名前」を選ぶ**

電話帳消去
子機の名前
ｸｲｯｸ通話

2 決定 F1 変更 F1 **と押す**

3 名前を入力し（全角6文字／半角12文字まで）、登録 F1 **を押す**

名前？
めぐみ
＿

● 文字入力のしかた（☞ 36ページ）
● **まちがえたとき** ➡ を押す

4 切 **を押す**

お知らせ

● 名前を登録すると、子機のディスプレイに登録した名前が表示されます。

子機 1
めぐみ

子機を増やす（増設・減設）

下記の別売の子機を増やせます。（別売品 ☞ 裏表紙「増設子機」、2003年8月現在）
品番：KX-FKN510-S※、KX-FKN510-W※　（※付属の子機と同じ性能、仕様です）

- VE-GP01DL　（付属の子機が1台）の場合……………あと**3台**増やせます。
  VE-GP01DW　（付属の子機が2台）の場合……………あと**2台**増やせます。
- **子機を増やすには、お使いの親機への登録（増設）が必要です。**
  下記の操作で増設できますが、詳しくは増設子機に添付の「取扱説明書」をよくお読みください。
- 登録した子機の使用をやめるときは、下記の「登録を解除する（減設）」を行ってください。

親機に登録する（増設）

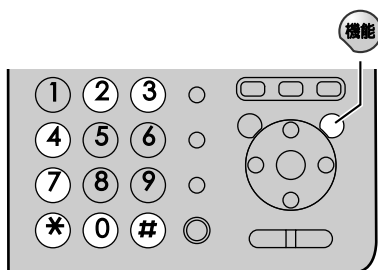
親機の操作に続けて、2分以内で子機を操作してください。

親　機

1 機能 を押し、# 7 0 0 0 ＊ を押す

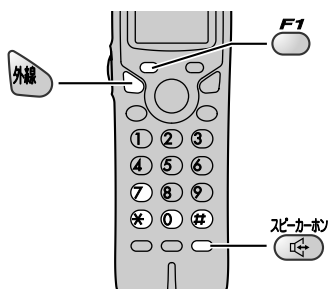
2 2 # を押す

3 増設する内線番号を押す

- 2台目の子機のときは 2 を押す
- 3台目の子機のときは 3 を押す
- 4台目の子機のときは 4 を押す

子　機

4 機能 F1 を押し、# 7 0 0 0 ＊ を押す

→ 外線 点灯、スピーカーホン 点灯

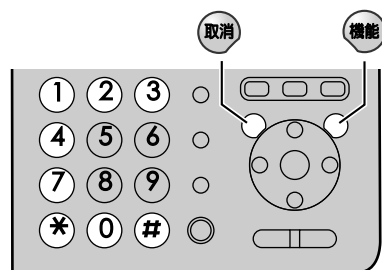
5 登録 F1 を押す

登録を解除する（減設）

親　機

1 機能 を押し、# 7 0 0 0 ＊ を押す

2 1 # を押す

3 減設する内線番号（1 ～ 4）を押す

4 取消 を押す

お願い

- **登録を解除（減設）した子機は、電池パックを外してください。**
  （誤動作の原因になります）

ドアホンを接続するとき

別売のドアホンアダプター「VE-DA10-H（VE-DA10）」が必要です。
ドアホン取付工事と接続方法については、ドアホンアダプター「VE-DA10-H（VE-DA10）」の説明書をお読みください。

ドアホンの接続が終わったら、ドアホンを押して、親機または子機が「ピンポーン」と鳴ることを確認してください。（接続後、一度もドアホンを押していない場合は、そのドアホンに呼びかけることができません）

ドアホン2
ドアホン1
別売のドアホンを2台まで接続できます
電源コンセントへ
配線後に差し込む
（AC100V）
ドアホンアダプター
VE-DA10-H
（VE-DA10）
D11 D12 D21 D22
電話機
局線
（裏側略図）
6芯
2芯
ドアホン1の呼出音
ピンポーン
ドアホン2の呼出音
ピンポーン
ピンポーン
「回線(電話回線へ)」へ
ドアホンアダプターに付属の電話機コード（6極6芯）
電話コンセントへ
電源コンセントへ
配線後に差し込む
（AC100V）
本機に付属の電話機コード（6極2芯）

■ADSLに接続の場合
スプリッタおよび一体型モデムの「電話機」「TEL」「PHONE」のポートに接続する
（☞ 添付の「困ったときには」）

■ISDN回線に接続の場合
ターミナルアダプターのアナログポートに接続する（☞ 添付の「困ったときには」）

■ **ホームテレホンに接続するとき** ➡ ドアホン機能は使えません。
■ **ドアホンを使わなくなったとき** ➡ 67ページ「ドアホンを使わなくなったとき」

本機には以下の当社指定のドアホン・テレビドアホンを接続してください　**（2003年 8月現在）**

■ **ドアホン**（★マーク付きの品番は、生産完了品であることを表します）
当社製
品番：
VB-3363 ★　VB-3364 ★　VB-3365 ★　VB-3366 ★　VF-521 ★
VF-522 ★　VF-523D ★　VF-523DA ★　VF-523U ★　VL-568 ★
VL-568D ★　VL-568DA ★　VL-568G ★　VL-568K ★　VL-586P ★
VL-582 ★　VL-582A ★　VL-583 ★　VL-584D ★　VL-585D ★
VL-586F ★　VL-594 ★　VL-568KA　VL-568R　VL-568S
VL-568U　VL-580D　VL-581D　VL-592　VL-593
VL-594A

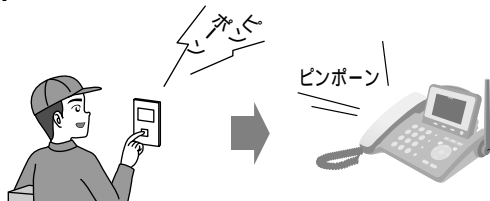
■ **テレビドアホン**（★マーク付きの品番は、生産完了品であることを表します）
当社製
品番：
VL-V140KP-T ★　VL-V140K-H ★　VL-V150KP-T ★　VL-V150X-T ★
VL-V160X-T ★　VL-V160KP-T ★　VL-V161AKP-K　VL-V161X-T ★
VL-V161KP-T ★　VL-V180KP-K ★

ドアホンの相手と通話する

ドアホン接続後は、ドアホンアダプターの説明書ではなく本書に従ってお使いください。

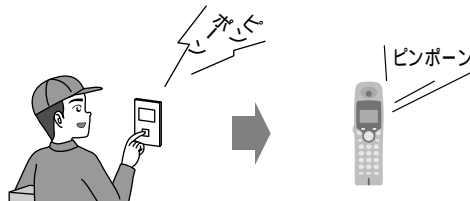
来客があると

親　機

1 **呼出音が鳴る**

2 **受話器を取り、来客と話す**

3 終わったら、**受話器を戻す**

子　機

1 **呼出音が鳴る**

2 **（内線）を押し、来客と話す**

（または充電台から子機を取る）

3 終わったら、**（切）を押す**

■ **本機からドアホンに呼びかけたいとき**

あらかじめ、ドアホン1の内線番号は「8」、ドアホン2の内線番号は「9」に設定されています。

➡ **親機で呼びかけるには**

1. 受話器を取り、（内線）を押す
2. ドアホンの内線番号（（8）または（9））を押し、呼びかける

➡ **子機で呼びかけるには**

1. （内線）を押す
2. ドアホンの内線番号（（8）または（9））を押し、呼びかける

■ **ドアホン通話中に外から電話がかかってきたとき（呼出音が聞こえたとき）**

➡ **親機で話すには**

1. 受話器を戻す（ドアホンとの通話が切れる）
2. 受話器を取る（外の相手と話せる）

➡ **子機で話すには**

1. （切）を押す（ドアホンとの通話が切れる）
2. （外線）を押す（外の相手と話せる）

お知らせ

- ドアホンと親機・子機間の3者通話はできません。
- ドアホンと親機との通話は、子機にはまわせません。
- ドアホンと子機との通話は、親機や別の子機にはまわせません。
- 留守セットしていても、来客者の声は録音できません。

通話中にドアホンが鳴ったら

内線通話や子機間通話は終わらせて、ドアホンに出てください。
外線通話中は、外線を保留してドアホンに出ることもできます。

親　機

1 通話中に呼出音が鳴る

2 通話を終わらせ、受話器を戻す

➡ 通話が切れる

3 受話器を取り、来客と話す

子　機

1 通話中に呼出音が鳴る

2 通話を終わらせ、［切］を押す

➡ 通話が切れる

3 ［内線］を押し、来客と話す

■ **外線通話を保留したままドアホンと話すとき**

➡ **親機で話すには**

1.呼出音が鳴ったら、［内線］を押す
（来客と話せる）

2.外線通話に戻るには［内線］［保留］と押す

➡ **子機で話すには**

1.呼出音が鳴ったら、［内線］を押す
（来客と話せる）

2.外線通話に戻るには［外線］を押す

お知らせ

● ドアホンと親機・子機間の3者通話はできません。

ドアホンを使わなくなったとき

1 ［機能］を押し、［#］［1］［6］［0］を押す

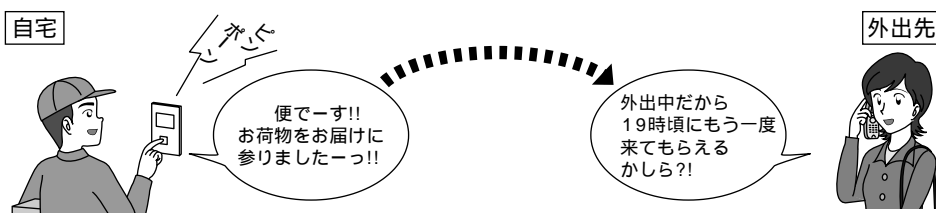
2 ［◁］［▷］で「なし」を選び、［決定］を押す

3 ［取消］を押す

ドアホンの相手と通話する

ドアホン

外出先でドアホンを受ける（ドアホンワープ）

ドアホンからの呼び出しを、外出先の電話や携帯電話・PHS などトーン信号の出せる電話機に転送できます。
- 電話回線がプッシュ回線の場合、約15秒後に転送され、通話できます。
（ダイヤル回線は転送に時間がかかるため、お勧めできません）

転送先の電話番号を登録する

1 機能 を押し、# 1 6 2 を押す

2 ◁ ▷ で「留守」または「あり」を選び、決定 を押す

ﾄﾞｱﾎﾝﾜｰﾌﾟ=留守 選択は[◀▶]を押す

「なし」：転送しない
「留守」：留守セットしているときだけ転送する
「あり」：すべて転送する

3 **転送先の電話番号を入力し**（24ケタまで）、決定 を押す

転送先=0987654█.

- **まちがえたとき** ➡ キャッチ/クリアー を押す

4 取消 を押す

■ドアホンワープを解除するには
➡ 手順2で「なし」を選ぶ。

■ 転送先の電話番号を変更するには
➡ 手順3で キャッチ/クリアー を押し、電話番号を入れ直す。

転送先でドアホンを受けるには

1 **ドアホンから呼び出しがあると、登録された電話番号に本機から電話がかかる**

- 約50秒以内に転送先の電話に出ないときは、電話が切れる

2 **転送先で電話を受ける**

> こちらはドアホンワープです。# を2回押してください。

- 自宅で親機や子機がドアホンに応答すると、「お家の方が応答しました。電話を切ります」とメッセージが流れ、電話が切れる

3 # # **と押し、来客と話す**

- 約30秒以内に # # を押さないと、電話が切れる

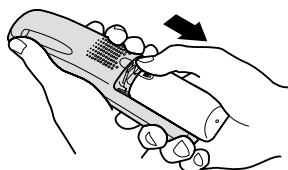
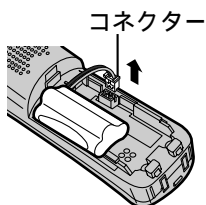
4 **終わったら、** ✳ # **と押して電話を切る**

お知らせ

- ドアホンワープをすると、転送するたびに転送先までの通話料金がかかります。
- 転送先の電話番号に、フリーダイヤルは使用できません。（転送先から操作することはできません）
- **ISDN回線に接続するとき**
  ➡ 接続するターミナルアダプターのアナログポートは、相手の応答時に極性反転するアナログポートをご使用ください。
  （ドアホンとの通話ができないためです。ターミナルアダプターの設定は各メーカーにお問い合わせください）
- ドアホンと転送先で通話中にキャッチホンが入ると、ドアホンからキャッチホンの呼出音が聞こえます。
- 親機・子機で通話中や、親機使用中は、ドアホンワープできません。
- ﾄﾞｱﾎﾝﾜｰﾌﾟ中 の表示が出ているときに、ご自宅で親機または子機が応答する場合、モニターやスピーカーホンは使えません。

子機の電池パックを交換するとき

電池パックは消耗品です。
約10時間充電しても通話数分後に電池残量表示が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。

1 電池カバーを開ける

2 古い電池パックを外す

3 新しい電池パックを入れて充電する
（☞ 7ページの手順2～3）

➡ **何も表示されなかったり、▭ だけが表示されます。**
（数分間、充電台に置いたままにすると、「充電中」が表示されます）

お願い

● 必ず指定の電池パック（別売品／品番：**KX-FAN50**、仕様：ニッケル水素電池、DC 3.6 V、600 mAh）をお使いください。ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

Ni-MH

● この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。

● ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

● 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

● リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
- 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
- （社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

（社）電池工業会ホームページ
http://www.baj.or.jp/

● リサイクル時のお願い
- 電池パックはショートしないようにしてください。
  火災・感電の原因になります。
- ビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池パックを分解しないでください。

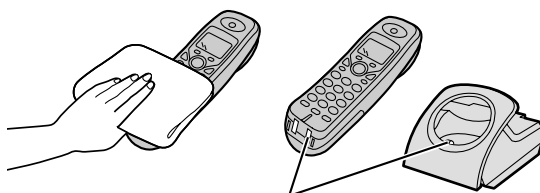
お手入れ

お手入れするときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

親　　機

柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってふく

子機・充電台

乾いた布でからぶきする

充電端子は月に一度、乾いた布でからぶきする

（充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります）

お願い

- アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。
（変色、変質の恐れがあります）

停電のとき

停電のときや親機のACアダプターが外れたときは、利用できる機能が下記のように制限されます。

親　機	**受話器を取って「外に電話をかける・受ける（キャッチホン切替含む）」ができます。 その他の機能は使えません。** ● 呼出音量が「切」の状態でも、電話がかかると停電用呼出音が鳴ります。 ● **ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合** ①ナンバー・ディスプレイサービスは利用できません。 ②電話がかかってくると、短い呼出音が約6秒間鳴り続けます。このときは電話に出られません。（出ると電話が切れます） 呼出音が変わってから受話器を取ってください。
子　機	**電話機能は使えません。** ● 通話中に停電すると通話は切れます。 約5分以内に親機の受話器を取ると、通話が続けられます。

プッシュ回線契約の方で、停電が続いているとき

● **電話機コードがつながっていれば、受話器を取って「外に電話をかける・受ける」ができます。**

● **電話がかけられなくなった場合は ＊ （トーン）を押してからダイヤルしてください。**

また、停電復旧後、電話回線種別を設定し直してください。（☞ 60ページ）

留守番電話の用件再生中や、外線リモート操作中に停電したとき

● **再生は停止します。外線リモート操作の場合、電話が切れます。**

電話帳に登録した内容・留守設定や用件録音の内容・各種設定について

● **電話機コードが接続された状態で、停電があった場合**

➡ 停電復旧後も保持されます。

● **電話機コードが外れた状態で、停電があった場合**

➡ 停電復旧後の状態は、下表のようになります。

登録／設定した内容	停電復旧後の親機の状態	
	約1時間未満の停電	約1時間以上の停電
電話回線種別（☞ 60ページ）	保持されます	保持されません（停電復旧後、設定し直してください）
日付・時刻（☞ 60ページ）	保持されます	保持されます
再ダイヤル（☞ 23ページ）	保持されます	保持されます
着信メモリー（☞ 54ページ）	保持されます	保持されます
用件録音（☞ 46ページ）	保持されます	保持されます
自作応答メッセージ（☞ 48ページ）	保持されます	保持されます
電話帳（☞ 40ページ）	保持されます	保持されます

● **保持される期間に関係なく、重要な内容は必ずメモに取るなどして保管しておいてください。**
記憶内容が変化、消失したことによる損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

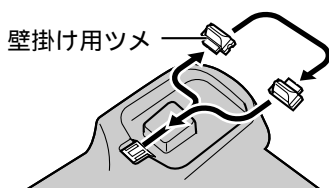
●「約1時間以上の停電でも保持される記憶内容」でも、お客様または第三者などが本機の取り扱いを誤ったとき、本機のメモリーなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、故障修理などのとき、誤動作や子機の電池切れなどの外部要因により、まれに記憶内容が変化、消失することがありますので、お気を付けください。

親機や子機を壁掛けするとき

付属の木ねじ・ワッシャーで親機や子機を壁掛けできます。
木ねじがしっかり固定できる壁（柱）に取り付けてください。

- 親機の場合、別売の「壁掛けアダプター」（☞ 裏表紙）を使うと、壁掛け後のボタン操作がよりしやすくなります。
  取り付けかたは、別売品に付属の説明書をご覧ください。

親　　機

1 壁掛け用ツメをはずし、上下逆にして差し込む

2 付属の木ねじ・ワッシャーを壁（柱）に取り付け、親機を引っ掛ける

- アンテナや受話器、受話器コードの長さなどを考慮し、上部ワッシャーから160 mm、下部ワッシャーから約200 mmのスペースをそれぞれ確保しておいてください。

充電台（子機）

1 付属の木ねじ・ワッシャーを壁（柱）に取り付け、充電台を引っ掛ける

親機の壁掛穴位置　約83.5 mm

充電台の壁掛穴位置　約23 mm

お願い

- **石膏ボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など強度の弱い壁には取り付けないでください。**
  （落下して、けがの原因になることがあります）

仕様

親　機

項目	仕様
電源	ACアダプター (品番：ADA007AEL) AC100 V (50 Hz/60 Hz) (DC11 V) (350 mA)
消費電力	待機時　約3 W 最大時　約6 W
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	約85×216×209 mm (突起部除く)
質量	約800 g
使用環境	温度5 ℃～35 ℃ 湿度45 %～85 %
適用回線	電話回線（ダイヤル回線、プッシュ回線） 新電電（NCC）回線
直流抵抗値	286 Ω
留守番電話	応答メッセージ： デジタル録音方式 オリジナル（約16秒）、固定内蔵 留守番録音： デジタル録音方式 合計録音時間： 最大約18分※1

子　機

項目	仕様
電源	専用ニッケル・水素蓄電池 （専用ニッケル水素電池） （品番：KX-FAN50） （DC 3.6 V）（600 mAh）
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	約161×47×39 mm
質量	約140 g (電池パック含む)
使用環境	温度5 ℃～35 ℃ 湿度45 %～85 %
形式	小電力タイプ
使用時間	連続通話時間：約7時間※2 待受時間：約180時間※2
充電時間	約10時間
使用可能距離	約100 m／見通し距離

子機用充電台

項目	仕様
電源	ACアダプター （品番：PFAP1009） AC100 V (50 Hz/60 Hz) （DC 7.5 V）（100 mA）
消費電力	待機時　約 0.6 W 充電時　約 1.5 W
外形寸法 (高さ×幅×奥行)	約64×80×90 mm
質量	約80 g
使用環境	温度5 ℃～35 ℃ 湿度45 %～85 %

※1 録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。
※2 10時間以上充電した状態で、使用環境温度が20 ℃のとき

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このコードレス電話機の補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

別添付の「困ったときには」に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	コードレス電話機
品　番	VE-GP01DL VE-GP01DW
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電などの外部要因により、録音、通話および料金管理などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル／パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	(0997)53-5101

沖縄地区

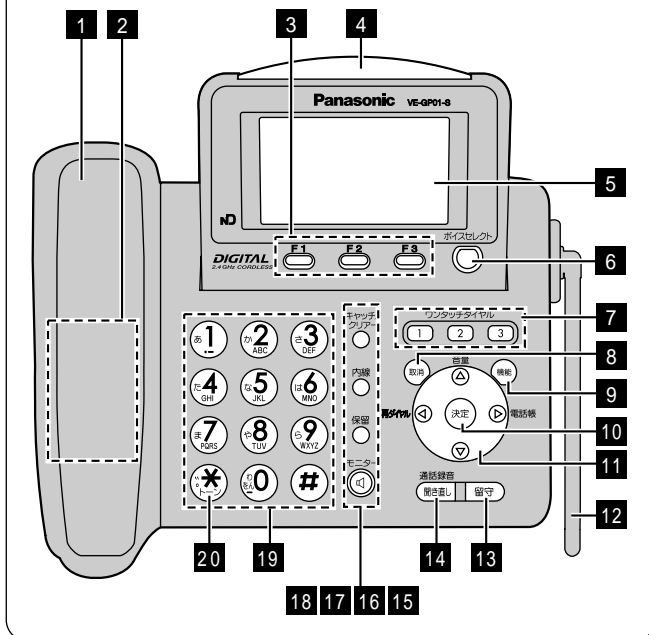
地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	(098)877-1207

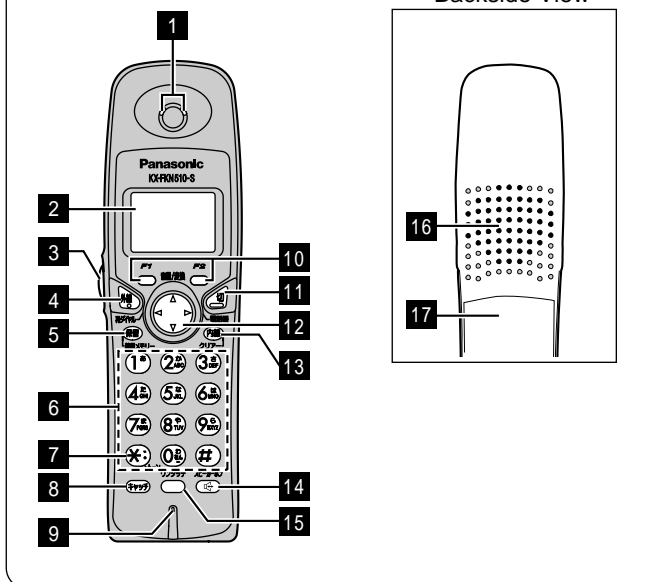
所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0503

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

VE-GP01 Base Unit

1 Handset
2 Speaker
3 Multi-operation buttons
4 Call indicator
5 Liquid crystal display
6 Voice select button
7 One-touch Dial buttons
8 Cancel button
9 Function button
10 Set button
11 Redial button (再ダイヤル ◁)
Phone book button (▷ 電話帳)
Volume control buttons (▽ △ 音量)
12 Antenna
13 Auto Answer button & indicator
14 Playback/Call Record button
15 Flash/Clear button
16 Intercom button
17 Hold button
18 Monitor button
19 Numeral/Character buttons
20 Tone button (to switch to DTMF tone)

KX-FKN510 Personal Phone

1 Earpiece
2 Liquid crystal display
3 Voice select button
4 Send/Answer button & indicator
5 Hold/Caller ID button
6 Numeral/Character buttons
7 Tone button (to switch to DTMF tone)
8 Flash button
9 Microphone
10 Multi-operation buttons
11 Off button
12 Redial button (再ダイヤル)
Phone book button (電話帳)
Volume control button ( )
13 Intercom/Clear button
14 Speakerphone button & indicator
15 One-touch Dial button
16 Speaker
17 Battery cover

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

Base unit (VE-GP01)

■ To make a call

Lift the handset. ➡ Dial.

■ To receive a call

When the phone rings... ➡ Lift the handset.

■ To place the current call on hold

Press 保留 (17) during a call.

(You can place the handset on the base unit.)

■ To retrieve the held call

- If you have returned the handset on the base unit, lift the handset.
- If you have not returned the handset on the base unit, press 保留 again.

■ To transfer the held call to the personal phone

Press 内線 (16) during a call. ➡ Press 1 – 4. (Intercom No.). ➡ Place the handset on the base unit when the other party answers.

■ To use TAM (Telephone Answering Machine)

When you leave home, press 留守 (13) to turn on the indicator.
(To deactivate, press 留守 again to turn off the indicator.)
➡ When receiving a call while TAM is activated, it answers the call automatically in Japanese, and records the incoming messages.
Then, the 留守 indicator starts flashing.
➡ When you return home, press 留守 to play back the messages.
The 留守 indicator turns off and the answering mode is deactivated.
After playing back the messages, press * to erase the messages or press # to keep the messages.
To play back the message while TAM is deactivated, press 聞き直し (14).
*Up to 50 messages can be recorded for approx. 18 minutes in total.

■ To hear recorded messages while away from home (Remote control)

Preparation before you leave home

Store a remote control number.
With the handset placed on the base unit, press 機能 # 0 0 6.
➡ Enter the desired 4-digit number. ➡ Press 決定.
When you leave home, press 留守 to turn on the indicator.

To hear messages

Dial your home phone number. ➡ While the outgoing message is played back...
➡ Enter your remote control number.
➡ Announcement ➡ Press 2. ➡ You will hear recorded messages if any.

NOTE

- This operation can be made only from telephones which can send DTMF signals.

Personal phone (KX-FKN510)

■ To make a call

Lift the personal phone from the charger and press 外線 (4). ➡ Dial......To end the call, place the personal phone on the charger or press 切 (11).

■ To receive a call

When the phone rings... ➡ Lift the personal phone from the charger or press 外線. ➡ Talk......To end the call, place the personal phone on the charger or press 切.

■ To make a call using the speakerphone (Hands-free talk)

Press スピーカーホン (14). ➡ Dial. ➡ Talk to the microphone......To end the call, place the personal phone on the charger or press 切.

■ To receive a call with the speakerphone (Hands-free talk)

When the phone rings... ➡ With the personal phone placed on the charger, press スピーカーホン or 外線. ➡ Talk to the microphone.....To end the call, press 切.

■ To place the current call on hold

Press 保留 (5) during a call.

■ To retrieve the held call

Press 外線 or 保留.

■ To transfer the held call to the base unit

Press 内線 (13) during a call. ➡ Press 0. Place the personal phone on the charger, or press 切 when the other party answers.

■ To transfer the held call to another personal phone

Press 内線 during a call. ➡ Press 1 – 4 (Intercom No.). ➡ Place the personal phone on the charger, or press 切 when the other party answers.

- The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

さくいん

「別冊」と記載されているものは、別添付の「困ったときには」をご覧ください。

A～Z 行

あ 行

か 行

さ 行

た 行

な 行

は 行

ま 行

や 行

ら 行

わ 行

別売品（ご注文は、販売店にお申し付けください）

価格は2003年8月現在のものです。

品　　名	品　　番	希望小売価格（税別）
増設子機	KX-FKN510-S（シルバー）※ KX-FKN510-W（ホワイト）※	20,000円
コードレス子機用電池パック 松下テクニカルサービス（株）扱い	KX-FAN50	2,200円
壁掛けアダプター	VE-U081	1,000円
ドアホンアダプター	VE-DA10-H	10,000円

※付属の子機と同じ性能、仕様です。

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検　**長年ご使用のコードレス電話機の点検を！**

こんな症状はありませんか	
	● 電源を入れても動かないことがある。 ● こげくさい臭いや異常な音、振動がする。 ● ACアダプターが熱を持っている。 ● 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。 ● その他の異常や故障がある。

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず**販売店に点検**をご依頼ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	VE-GP01DL VE-GP01DW
販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　）　－

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
テレコムカンパニー
〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

PFQX1917ZB FC0803MT1103